



シャーシの取り付け

この章は次のトピックで構成されています。

- 製品の輸送および取り扱いに関する考慮事項 (1 ページ)
- 安全上の警告 (2 ページ)
- 全般的な展開の注意事項と制限事項 (9 ページ)
- 追加のハードウェア (10 ページ)
- シャーシの取り付け (12 ページ)
- アース接続 (51 ページ)
- エアー フィルタの取り付け (56 ページ)
- セキュリティ ベゼルの取り付け (58 ページ)

製品の輸送および取り扱いに関する考慮事項

本製品の輸送および安全な取り扱いに関する次の要件に注意してください。

- 要件ではありませんが、製品に付属していた元の梱包材などの輸送用コンテナに製品を固定することがベストプラクティスです。
- 製品の出荷または輸送時には、製品をパレットに載せる必要があります。



注意 製品をパレットに載せる前に、パレットに損傷や、ネジ、ネジ、その他の留め具の欠落がないか確認してください。製品を出荷するには、留め具が欠落していない、損傷していないパレットのみを使用してください。

この要件は、製品に直接貼り付けられている次のラベルにも示されています。



顧客または注文のフルフィルメント拠点との間の出荷時、または RMA などにより Cisco に製品を返送する場合には、これらの輸送および取り扱いに関する考慮事項を使用する必要があります。

製品の重量とサイズをサポートできるパレットを用意できない場合は、Cisco Systems に UCSXE-PKG-MINIPLT= を注文して注文できます。



(注) Cisco パレット (UCSXE-PKG-MINIPLT=) には、製品梱包または輸送用コンテナは含まれていません。



注意 適切なパレットを使用せずに製品を出荷すると、製品保証が無効になる場合があります。

安全上の警告

このトピックには、製品の取り付けおよび使用に関する安全上の警告が記載されています。その他の認定および安全上の警告については、『必要な認定および安全に関する情報』を参照してください。

一般的な安全上の警告

次の一般的な安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1071 - 警告の定義

安全上の重要な注意事項

装置の取り扱い作業を行うときは、電気回路の危険性に注意し、一般的な事故防止対策に留意してください。使用、設置、電源への接続を行う前にインストール手順を読んでください。各警告の冒頭に記載されているステートメント番号を基に、装置の安全についての警告を参照してください。

これらの注意事項を保管しておいてください。



(注) ステートメント 407 - 日本語での安全上の注意

製品を使用する前に、安全上の注意事項を読むことを強くお勧めします。

<https://www.cisco.com/web/JP/techdoc/pldoc/pldoc.html>

製品を設置するときには、付属のまたは指定された接続ケーブル、電源コード、および AC アダプタを使用してください。

〈製品使用における安全上の注意〉

www.cisco.com/web/JP/techdoc/index.html

接続ケーブル、電源コードセット、ACアダプタ、バッテリーなどの部品は、必ず添付品または

指定品をご使用ください。添付品・指定品以外をご使用になると故障や動作不良、火災の

原因となります。また、電源コードセットは弊社が指定する製品以外の電気機器には使用

できないためご注意ください。



警告 ステートメント 1015—バッテリーの取り扱い

火災、爆発、または可燃性液体やガス漏れのリスクを軽減するには：

- 交換用バッテリーは元のバッテリーと同じものか、製造元が推奨する同等のタイプのものを使用してください。
- 分解、粉砕、破壊、鋭利な道具を使った取り外し、外部接点のショート、火中への廃棄は行わないでください。
- バッテリーがゆがんだり、膨らんだりしているときは使用しないでください。
- >60° C (140° F) を超える温度でバッテリーを保管または使用しないでください。
- 10,000 フィートで <10.1 psia よりも低い低気圧環境でバッテリーを保管または使用しないでください。



警告 ステートメント 1029 - ブランクの前面プレートおよびカバー パネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



警告 ステートメント 1073 - ユーザが保守可能な部品なし

内部に保守可能な部品はありません。感電の危険を避けるため、開かないでください。



警告 ステートメント 1074 - 地域および国の電気規則への適合

感電または火災のリスクを軽減するため、機器は地域および国の電気規則に従って設置する必要があります。



- (注) **ステートメント 1089** - 教育を受けた担当者および熟練者の定義
- 教育を受けた担当者とは、熟練者から教育やトレーニングを受け、機器を操作する際に必要な予防措置を講じられる人です。
- 熟練者または資格保持者とは、機器の技術に関するトレーニングを受けているか経験があり、機器を操作する際に潜む危険を理解している人です。



警告 **ステートメント 1090** - 熟練者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、熟練者のみが実施できます。熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。



警告 **ステートメント 1091** - 教育を受けた担当者による設置

この機器の設置、交換、または修理は、教育を受けた担当者または熟練者のみが実施できます。教育を受けた担当者または熟練者の定義については、「ステートメント 1089」を参照してください。



警告 **ステートメント 9001** - 製品の廃棄

本製品の最終処分は、各国のすべての法律および規制に従って行ってください。

機器を設置する際の電源に関する警告

次の電源に関する安全上の警告に注意してください。



警告 **ステートメント 1003** - DC 電源の切断

感電や怪我のリスクを軽減するために、コンポーネントの取り外しや交換、またはアップグレードを実行する前に、DC 電源を切断してください。

**警告** ステートメント 1005 - 遮断器

この製品は、設置する建物にショート（過電流）保護機構が備わっていることを前提に設計されています。感電または火災のリスクを軽減するため、保護対象の装置は次の定格を超えないようにします。

AC : 20A

**警告** ステートメント 1017 - 立ち入り制限区域

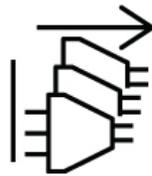
この装置は、出入りが制限された場所に設置されることを想定しています。熟練者、教育を受けた担当者、または資格保持者のみが立ち入り制限区域に入ることができます。

**警告** ステートメント 1022 - デバイスの切断

感電または火災のリスクを軽減するため、容易にアクセス可能な切断装置を固定配線に組み込む必要があります。

**警告** ステートメント 1028 - 複数の電源

この装置には複数の電源装置接続が存在する場合があります。感電の危険を減らすために、すべての接続を取り外してユニットの電源を切ります。





警告 ステートメント 1029 - ブランクの前面プレートおよびカバーパネル

ブランクの前面プレートおよびカバーパネルには、3つの重要な機能があります。感電および火災のリスクを軽減すること、他の装置への電磁波干渉（EMI）の影響を防ぐこと、およびシャーシ内の冷気の流れを適切な状態に保つことです。システムは、必ずすべてのカード、前面プレート、前面カバー、および背面カバーを正しく取り付けられた状態で運用してください。



警告 ステートメント 1046 - 装置の設置または交換

感電のリスクを軽減するため、装置を設置または交換するときには、必ずアースを最初に接続し、最後に取り外します。

装置にモジュールがある場合は、提供されたネジで固定してください

アース接続に関する警告

次のアース接続に関する警告に注意してください。



警告 ステートメント 1024 - アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。

光ファイバ接続（SFP）に関する警告

次の光接続に関する警告に注意してください。



警告 ステートメント 1051 - レーザー放射

接続されていない光ファイバケーブルやコネクタからは目に見えないレーザー光が放射されている可能性があります。レーザー光を直視したり、光学機器を使用して直接見たりしないでください。



警告 ステートメント 1055 - クラス I およびクラス 1M レーザーまたはその一方

目に見えないレーザー放射があります。望遠鏡を使用しているユーザに光を当てないでください。これは、クラス 1/1M のレーザー製品に適用されます。



ラックマウントに関する警告

次のラックマウントに関する安全上の警告に注意してください。



警告 ステートメント 1006 - ラックへの設置と保守に関するシャーシ警告

ラックへのユニットの設置や、ラック内のユニットの保守作業を行う場合は、負傷事故を防ぐため、システムが安定した状態で置かれていることを十分に確認してください。次の注意事項に従ってください。

- ラックにこの装置を一基のみ設置する場合は、ラックの一番下方に設置します。
- ラックに別の装置がすでに設置されている場合は、最も重量のある装置を一番下にして、重い順に下から上へ設置します。
- ラックに安定器具が付属している場合は、その安定器具を取り付けてから、装置をラックに設置するか、またはラック内の装置の保守作業を行ってください。



警告 ステートメント 1032 - シャーシの持ち上げ

怪我またはシャーシの破損を防ぐために、モジュール（電源装置、ファン、カードなど）のハンドルを持ってシャーシを持ち上げたり、傾けたりすることは絶対に避けてください。これらのハンドルには、ユニットの重量を支える強度はありません。



警告 ステートメント 1098 - 持ち上げに関する要件

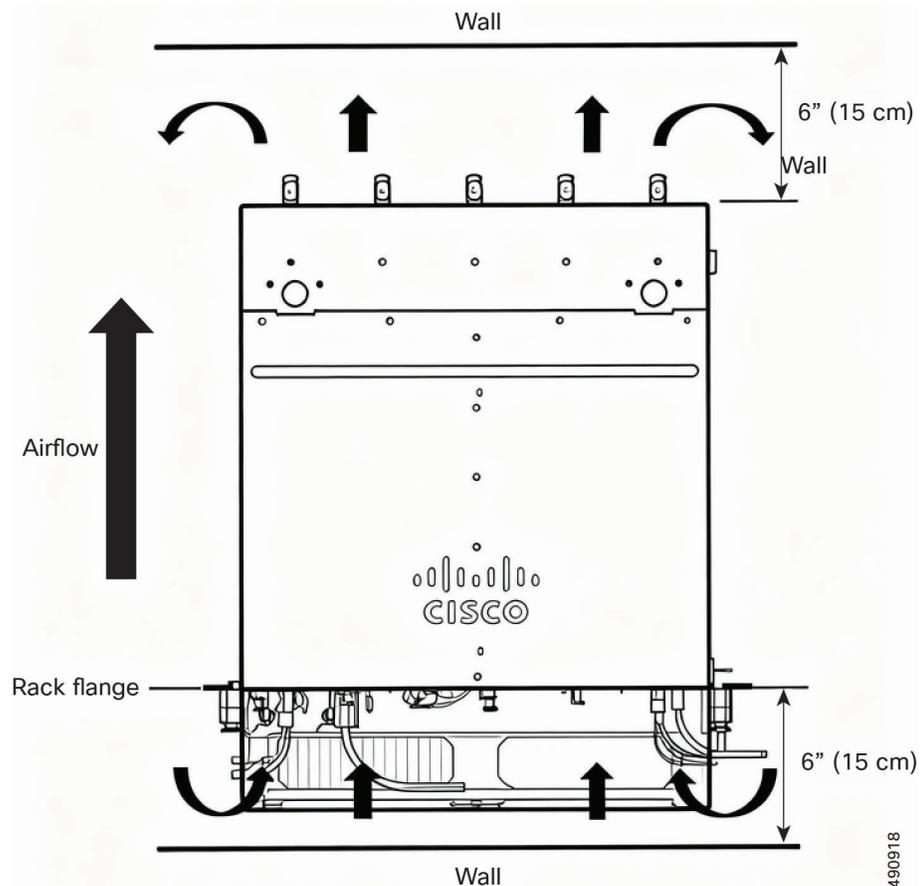
製品の重い部分を持ち上げるには少なくとも2人の人員が必要です。けがをしないように、背中をまっすぐにして、腰ではなく足に力を入れて持ち上げます。

全般的な展開の注意事項と制限事項

これらの一般的な注意事項と制限事項に加えて、[安全上の警告 \(2 ページ\)](#) を参照してください。

シャーシを取り付ける前に、次の一般的な注意事項と制限事項に注意してください。

- シャーシには、エアフローに必要なスペースがあります。シャーシ内の適切な空気循環を維持するため、壁とシャーシおよび電源ユニット (PSU) の吸気口の間、または壁とシャーシおよび電源ユニット (PSU) の排気口の間には、最低 15 cm (6 インチ) のスペースを確保することを推奨します。



- コンピューティングデバイス、PSU、ファン、およびその他のハードウェアをフル装備すると、シャーシにはかなりの重量があります。
 - シャーシの設置、移動、または装置ラックからの取り外しを行う場合は、削除可能なすべてのハードウェアを必ず取り外してください。シャーシは常に空のシャーシとして設置、移動、または取り外しを行います。

シャーシを扱う際は、必ず2人以上で持ち上げてください。または、ベストプラクティスとして、サーバリフトまたはシザー ジャックなどの機械的手段を使用して、シャーシの負荷を支えます。
- 棚や台上などの高所にシャーシを設置する前に、次の作業を行います。
 - 設置面が、フル装備のシャーシの重量に耐えられることを確認します。
 - シャーシが設置面の中央に配置されていることを確認します。シャーシが偏心位置にある場合、棚または台上が転倒する可能性が高くなります。
- 設置の種類によっては、設置に関する追加の注意事項と制限事項が適用される場合があります。設置方法のサブセクションに記載されているその他の注意事項と制限事項（存在する場合）を参照してください。

追加のハードウェア

Cisco UCS XE9305 シャーシ とそのコンピューティング デバイス、PSU、およびファンに加えて、シャーシはいくつかの追加のハードウェア アクセサリをサポートしています。

設置ハードウェア

一部の設置方法では追加の機器が必要です。追加の機器はCisco でアクセサリ キットとして入手可能で、初回購入時に別途注文できます。

インストールタイプ	キットタイプ	キットPID
水平方向の設置	平面/水平設置、棚または卓上 取り付けブラケット	UCSXE-SHLFMT-BKT
垂直方向の設置	垂直/直立設置、棚または卓上 取り付けブラケット	UCSXE-R2T-MT-BKT
2 支柱ラック	ラック取り付けキット、取り 付けブラケット（2個）、前面 および背面。 背面取り付けブラケットは延 長可能です。	UCSXE-RKMT2P

インストールタイプ	キットタイプ	キット PID
4 支柱ラック	ラック スライディング レール キット、スライディング レール (2)、前面および背面取り 付けブラケット一体型	UCSXE レール

セキュリティおよびフィルタリング ハードウェア

シャーシは、次の追加のハードウェアをサポートします。

使用法	キットタイプ	キット PID
セキュリティ	ロック前面ベゼル	UCSXE-BEZ-3
ほこりおよび微粒子のフィルタリング	エアー フィルタ、スペース エアー フィルタは、交換可能な部品として設計されていないため、フィルタがその最大サポート時間に達した場合でも、そのままになります。	UCSXE-BEZ-FLTR
	フォーム フィルタ フォーム フィルタは、エアー フィルタ アセンブリ全体の交換可能な部品です。エアー フィルタがサポートされている動作時間に達した場合は、フォームを交換する必要があります。 詳細については、「 フォーム フィルタに関する注意事項と考慮事項 」を参照してください。	UCSXE-FLTR-FOAM=

ケーブル管理ハードウェア

シャーシは、ケーブル管理アセンブリ (CMA) をサポートしています。ケーブル接続の整理、通気の最適化、およびシャーシへのアクセスを最適化します。CMA は、シャーシの前面に接続してセキュリティ ベゼルとエアー フィルタ アセンブリに取り付ける 2 つのケーブルフックで構成されています。

シャーシの取り付け

Cisco UCS XE9305 シャーシは、数多くのエッジコンピューティングアプリケーションに対応する3ラックユニット (RU) ハードウェアプラットフォームです。シャーシは、標準規格の2支柱および4支柱の装置ラック、および卓上などの平面に設置できます。

シャーシをインストールするには、展開に適したインストール方法を選択します。

- [平面への水平設置 \(12 ページ\)](#)
- [平面に垂直に取り付ける \(18 ページ\)](#)
- [2支柱ラックへのシャーシの設置 \(27 ページ\)](#)
- [4支柱ラックへのシャーシの設置 \(32 ページ\)](#)



(注) インストール手順を試行する前に、[全般的な展開の注意事項と制限事項 \(9 ページ\)](#)、および特定のインストール方法に対するその他のインストールの注意事項と制限事項を読んでください。

平面への水平設置

ブラケットを取り付けると、シャーシを床または棚などの平らな水平面に取り付けることができます。ブラケットには、シャーシをしっかりと固定するための垂直部品と水平部品があります。

- 垂直部品はシャーシの端を固定し、シャーシが横に流れたりするのを防ぎます。
- 水平部分はシャーシの下部を支え、床、棚またはその他水平な面に固定します。

シャーシを平らな面に固定するには、特定の寸法に穴を開ける必要があります。

床、棚または卓上など水平な面にシャーシを設置するには、次の手順を活用します。

設置の準備

このタスクを活用、シャーシを設置する設置面に取り付け穴を開け、取り付けキットを準備します。

始める前に

このタスクを実行するには、次の手順を実行します。

- 次のツールを収集します。
 - 正しい距離を測定する定尺、巻き尺、または測定スティック

- ドリル
 - 10 mm ドリル ビット
 - T20 スターヘッド ドライバ
 - M4 スターヘッド ドライバ
 - トルク ドライバまたはその他のトルク測定用ツール
- 適切な物理アクセス、ケーブル配線、およびエアフローを確保するために、シャーシの周辺に十分な空きスペースを確保してください。
 - 機器の設置および取り外しに必要なスペースを考慮してください。
 - 設置する前に、取り付け面がコンクリートまたは木製の床であることを確認してください。上記に記載されていない取り付け面については、専門のエンジニアに問い合わせ、取り付けに関する推奨事項を確認してください。
 - シャーシの前面にノードを設置できるように 15 インチ以上のスペースを確保し、シャーシの背面にファンを設置できるように少なくとも 6 インチのスペースを確保してください。

**重要**

実際に取り付け手順を実行する前に、このトピックを完全に読んで、必要な取り付け寸法とドリル穴の深さを理解してください。寸法と奥行は、表面のタイプ（たとえば、コンクリートまたは木製の床）によって異なる可能性があります。



- (注) このトピックの図は、取付プレートの使用例を示しています。Cisco は取り付けプレートを提供していないため、取り付けキットには含まれていません。取り付けプレートは不要です。製品を取り付けプレートに設置するか、設置面に直接設置するかはお客様のご判断にお任せします。

手順

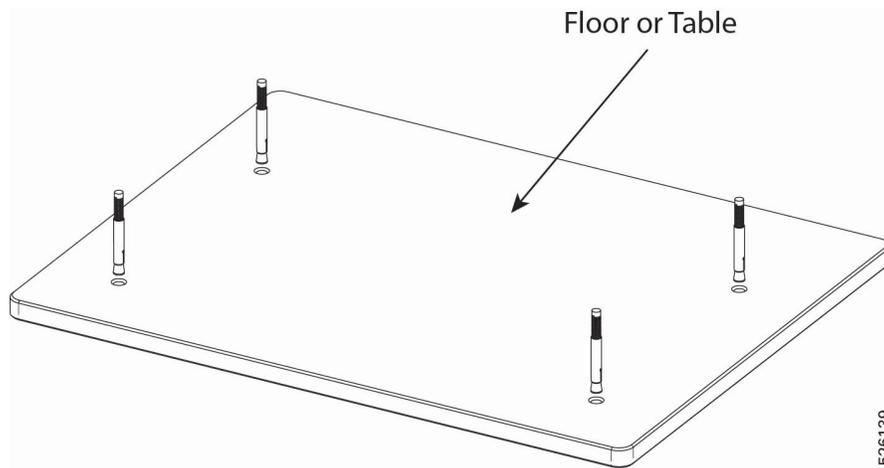
取り付けキットを受け入れるために水平面を準備します。

- a) 設置面がコンクリートまたは木製の床であることを確認してください。フロアタイプによって設置留め具は異なり、これらの留め具にはドリル穴の直径、深さなどに関する固有の要件があります。

コンクリート床の場合、M8 アンカー ボルトのドリル穴の要件は次のとおりです。

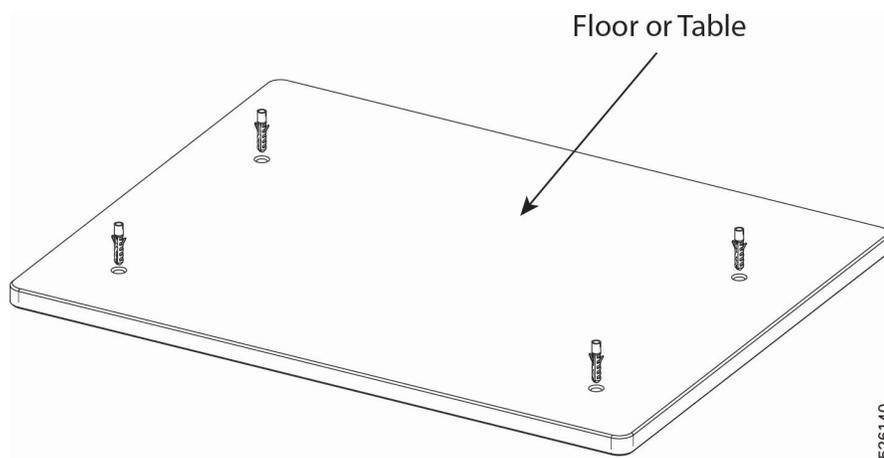
- ドリル有効径 : $\phi 10 \times 4$
- ドリル穴の深さ : 70 mm

- 端からの距離：60 mm 以上
- モルタル目地およびコンクリート壁からの距離： ≥ 30 mm



木製の床の場合、プラスチック製アンカーとタッピングネジのドリル穴の要件は次のとおりです。

- ドリル有効径： $\phi 8 \times 4$
- ドリル穴の深さ：50 mm

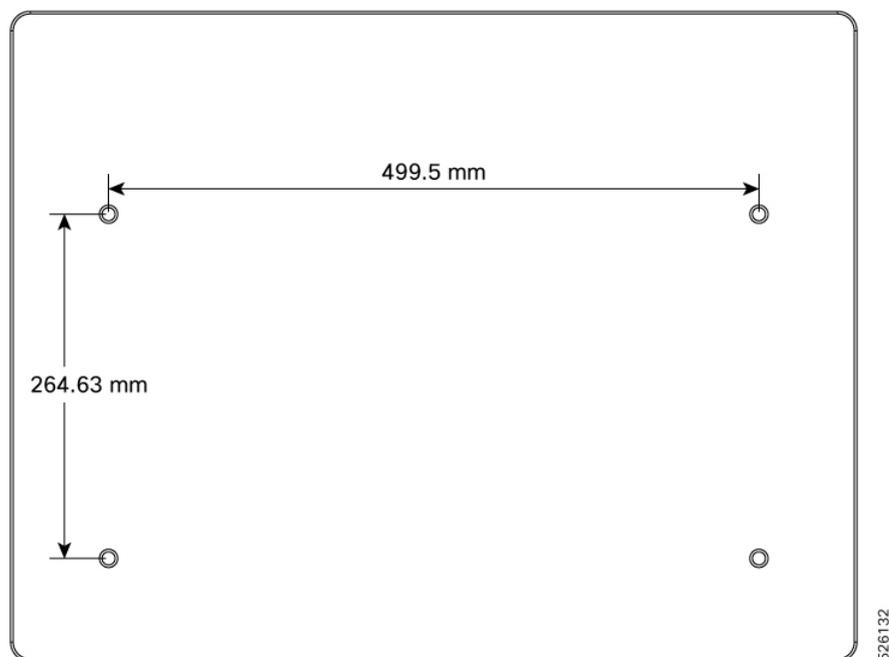


- b) まだ完了していない場合は、ドリルビットをドリルに挿入して固定します。

注意

先に進む前に、ドリルビットがチェックボックスに固定されていることを確認してください。

- c) 次の図を使用して、取り付けキット用に4つの穴を開けます。
表示される距離/寸法は mm 単位です。



後で、これらの穴にアンカースリーブまたは留め具を取り付けます。取り付け時に問題が発生しないように、ドリル穴がまっすぐ垂直であることを確認してください。

次のタスク

取り付けキットを表面に取り付けます。

シャーシを水平に平面に設置する

床、棚または台上などの平面にシャーシを水平に設置するには、取り付けブラケットをシャーシに取り付け、ブラケットを設置面に固定します。

始める前に

以下のタスクを完了する方法：

- 次のツールを収集します。
 - M4 スターヘッド ドライバ
 - M8 六角レンチまたは六角ナットドライバ
- 適切な通気およびアクセスを確保するために、シャーシの周辺に十分な空きスペースを確保してください。



- (注) このトピックの図は、取付プレートの使用例を示しています。Cisco は取り付けプレートを提供していないため、取り付けキットには含まれていません。取り付けプレートは不要です。製品を取り付けプレートに設置するか、設置面に直接設置するかはお客様のご判断にお任せします。

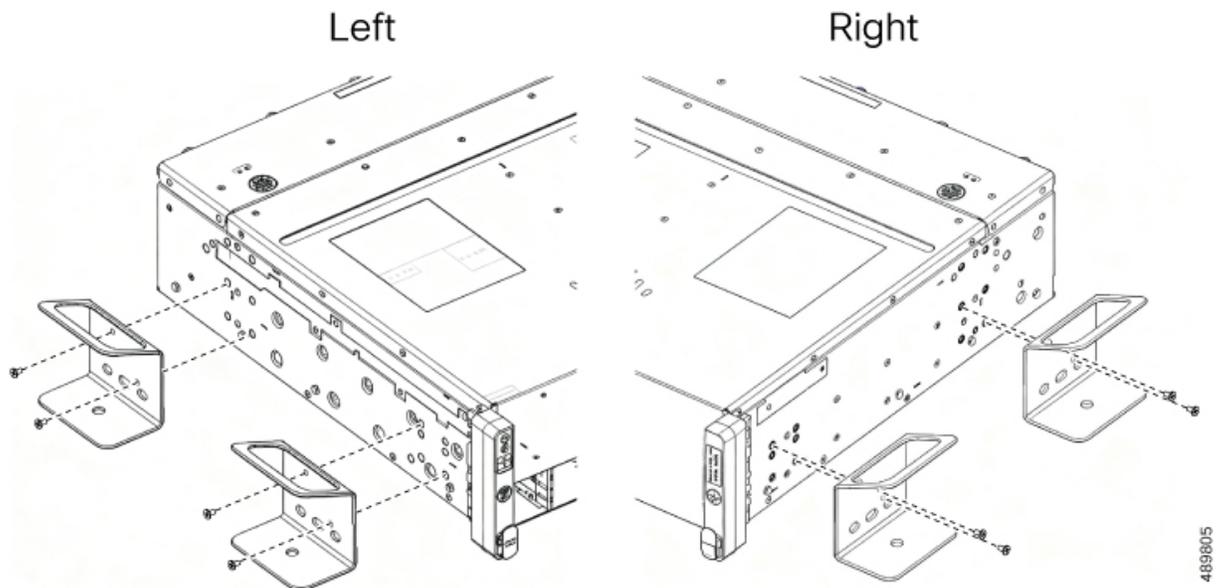
手順

ステップ1 M4 スターヘッド ドライバを使用して、4つのマウントブラケットをシャーシの側面に2個ずつ取り付けます。

- a) 図に示すように、取り付けブラケットごとに2本のネジを、各取り付けブラケットを通してシャーシの側面に取り付けます。

注意

シャーシの正しい穴にネジを取り付けていることを確認します。



489805

ステップ2 すべての取り付けブラケットが正しく取り付けられたら、シャーシを取り付け面に配置します。

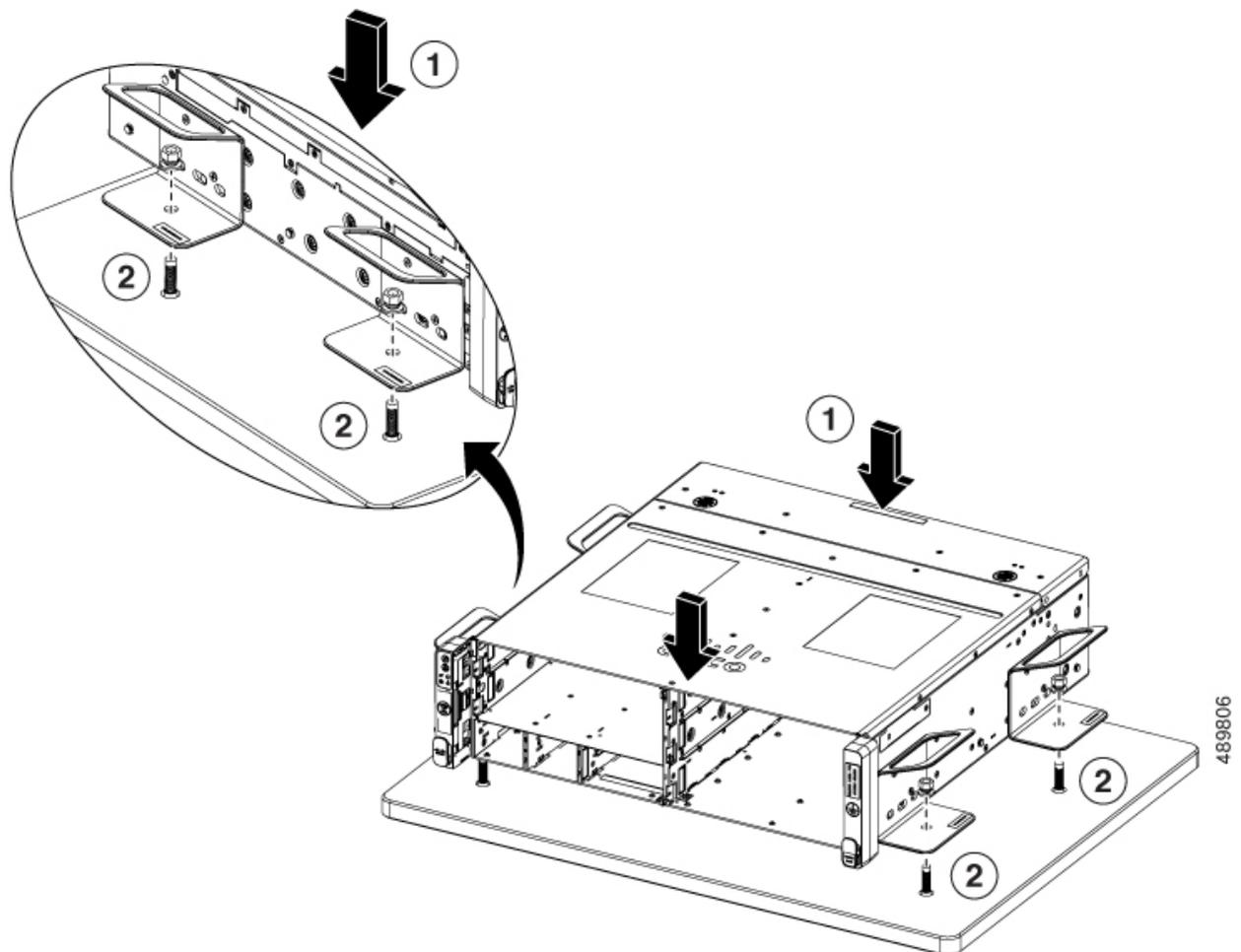
注意

シャーシを棚または台上に設置する場合、設置面が、フル装備のシャーシの重量を支えられることを確認してください。フル装備したシャーシの負荷に耐えられない面には、シャーシを取り付けないでください。

また、シャーシを棚または作業台の上に配置し、シャーシの重量が設置面全体に均等に分散されるようにします。重量が均等に分散されないと、棚や卓上が転倒する可能性が高くなります。

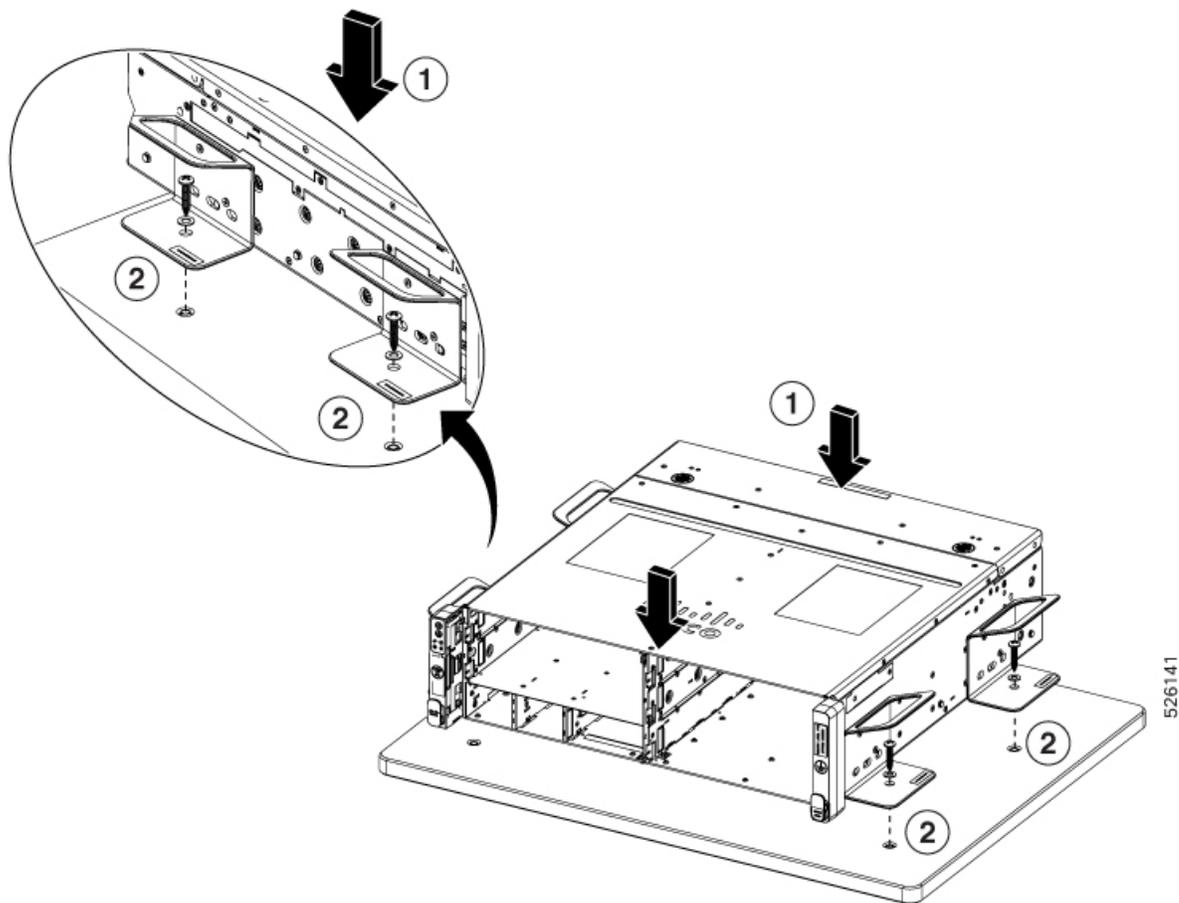
ステップ3 床の種類に応じて固定具を取り付けてください。

- a) **コンクリート製床の場合**、ドリル穴に M8 アンカー ボルトを挿入します。
- b) 六角ソケット レンチを使用して、ナットをボルトに取り付け、ナットを適度に締めます。
- c) トルク レンチまたはドライバを使用して、M8 ナットを 24.5 ~ 30 N-m の範囲で締め付けを完了してください。



- d) **木製床の場合**、ドリル穴にプラスチックアンカーを挿入してください。
- e) シャーシを表面に下ろし、取り付けブラケットのネジ穴が取り付け面のドリル穴に合うことを確認します。
- f) #2 プラス ドライバを使用してタッピング ネジを挿入し、適度に締め付けます。その後、トルク ドライバを使用してネジを 6 N-m の範囲で完全に締め付けます。

■ 平面に垂直に取り付ける



平面に垂直に取り付ける

Cisco UCS XE9305 シャーシは、棚、床、卓上などの平面に垂直に設置できます。この設置方法では、シャーシはタワー型デスクトップPCと同様に、設置面に対して90度の角度で立ちます。



(注) 設置面（卓上、カウンター上、棚など）が、フル装備のシャーシの重量を支えられることを確認してください。

設置の準備

このタスクを活用、シャーシを設置する設置面に取り付け穴を開け、取り付けキットを準備します。

始める前に

以下のタスクを完了する方法：

- 次のツールを収集します。
 - 正しい距離を測定する定尺、巻き尺、または測定スティック
 - ドリル
 - 10 mm ドリル ビット
 - T20 スターヘッド ドライバ
 - M4 スターヘッド ドライバ
 - トルクを測定するためのトルク ドライバまたはその他のツール
- 適切な物理アクセス、ケーブル配線、およびエアフローを確保するために、シャーシの周辺に十分な空きスペースを確保してください。
- 機器の設置および取り外しに必要なスペースを考慮してください。
- 設置する前に、取り付け面がコンクリートまたは木製の床であることを確認してください。上記に記載されていない取り付け面については、専門のエンジニアに問い合わせ、取り付けに関する推奨事項を確認してください。



重要

実際に取り付け手順を実行する前に、このトピックを完全に読んで、必要な取り付け寸法とドリル穴の深さを理解してください。寸法と奥行は、表面のタイプ（たとえば、コンクリートまたは木製の床）によって異なる可能性があります。



- (注) このトピックの図は、取り付けプレートの使用例を示しています。Cisco は取り付けプレートを提供していないため、取り付けキットには含まれていません。取り付けプレートは不要です。製品を取り付けプレートに設置するか、設置面に直接設置するかはお客様のご判断にお任せします。

手順

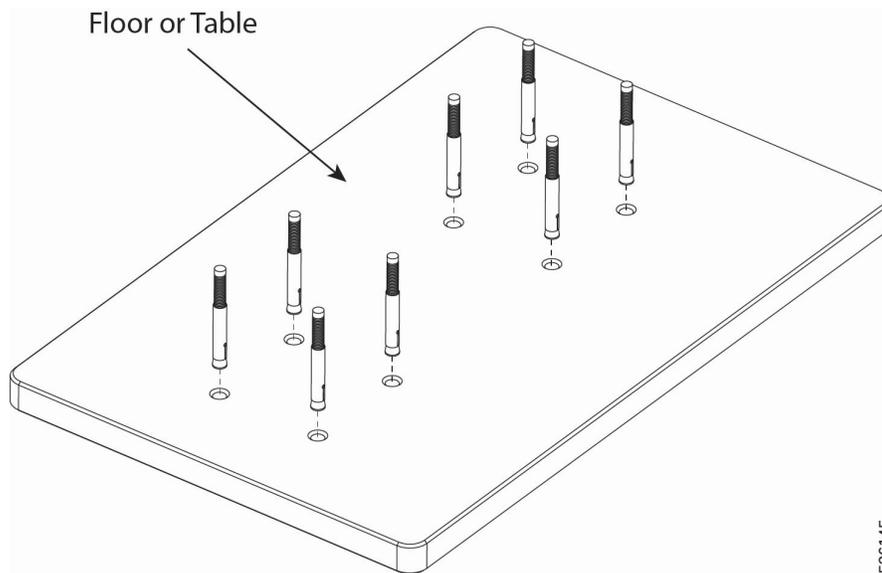
取り付けキットを受け入れるために水平面を準備します。

- a) 設置面がコンクリートまたは木製の床であることを確認してください。フロアタイプによって設置留め具は異なり、これらの留め具にはドリル穴の直径、深さなどに関する固有の要件があります。

コンクリート床の場合、M8 アンカー ボルトのドリル穴の要件は次のとおりです。

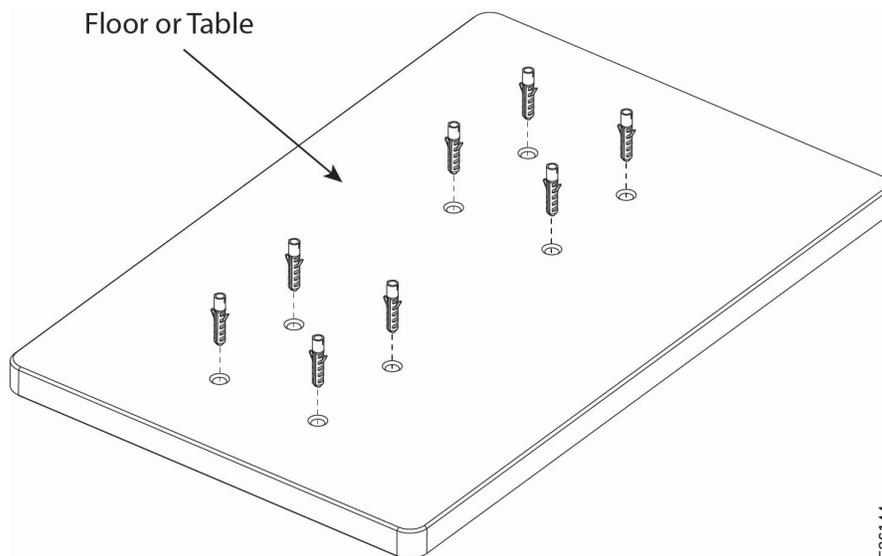
- ドリル有効径： $\phi 10 \times 4$

- ドリル穴の深さ : 70 mm
- 端からの距離 : 60 mm 以上
- ロール目からの距離 : ≥ 30 mm



木製の床の場合、プラスチック製アンカーとタッピングネジのドリル穴の要件は次のとおりです。

- ドリル有効径 : $\phi 8 \times 4$
- ドリル穴の深さ : 50 mm

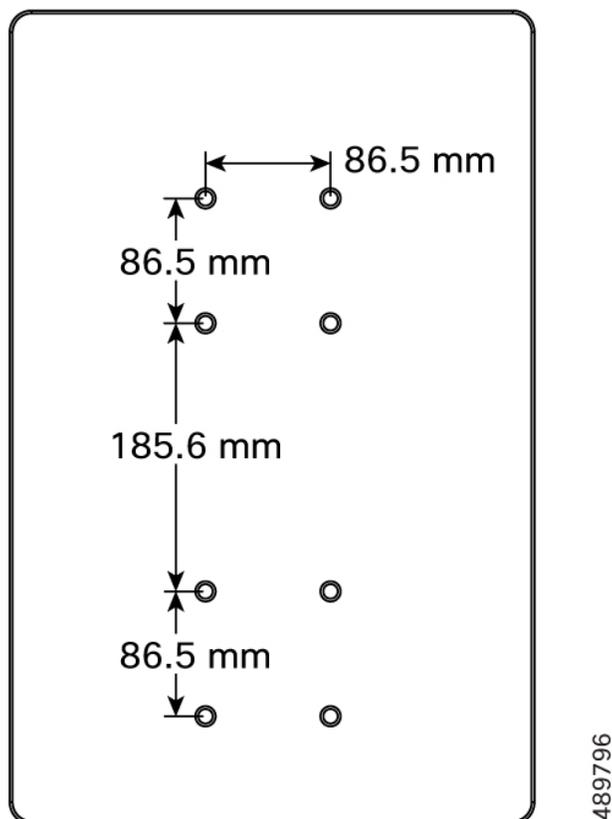


b) まだ完了していない場合は、ドリルビットをドリルに挿入して固定します。

注意

先に進む前に、ドリルビットがチェックボックスに固定されていることを確認してください。

- c) 次の図を使用して、取り付けキット用の8つの穴を開けます。
表示される距離/寸法は mm 単位です。



後でこれらの穴にアンカースリーブを取り付けます。アンカースリーブの取り付けで問題が発生しないように、ドリル穴がまっすぐ垂直であることを確認してください。

次のタスク

取り付けキットを表面に取り付けます。

取り付けキットを平面に垂直に取り付ける

設置時にタワーのように見えるように、シャーシを平面に垂直に設置できます。取り付け面はさまざまですが、この手順では、床などのコンクリートまたは木製の面に取り付ける場合について説明します。

始める前に

平面を調整した後、取り付けキットを取り付けます。

この手順では、以下のツールが必要です。

- コンクリート床の場合は、M8 六角頭ソケット レンチまたは六角ナット ドライバ。
- 木製の床の場合は #2 プラス（プラス） ドライバ。
- 留め具が失われないように、適切な力を確保するためのトルクレンチまたはドライバ。



(注) このトピックの図は、取り付けプレートの使用例を示しています。Cisco は取り付けプレートを提供していないため、取り付けキットには含まれていません。取り付けプレートは不要です。製品を取り付けプレートに設置するか、設置面に直接設置するかはお客様のご判断にお任せします。

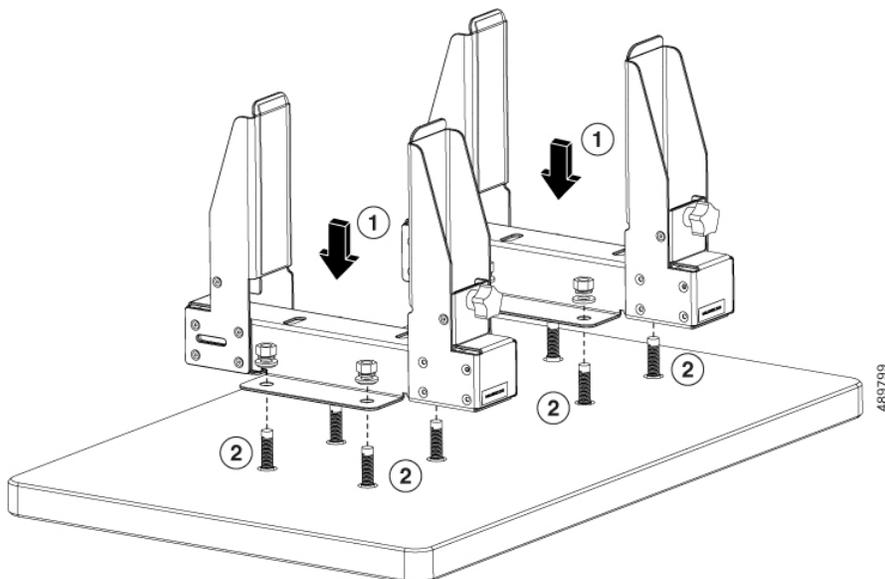
手順

ステップ1 2つの取り付けブラケットを用意します。

ステップ2 取り付けブラケットのドリル穴と、取り付け面のドリル穴を合わせます。

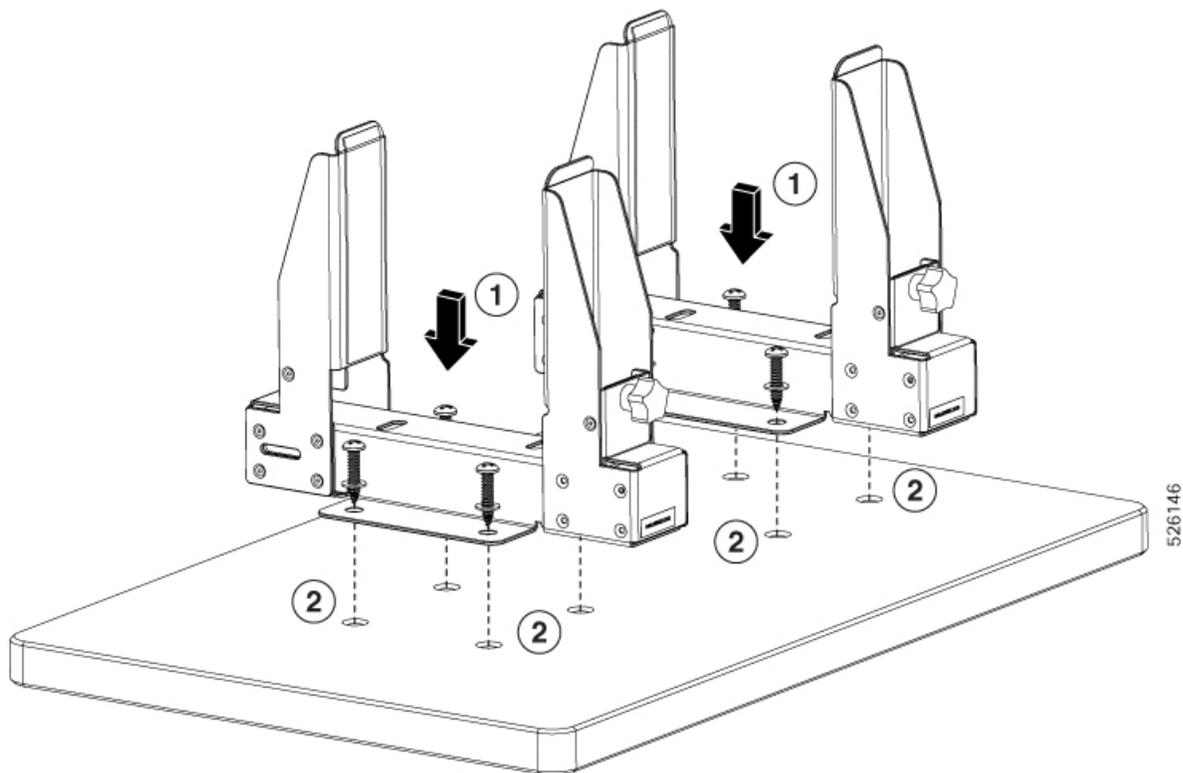
ステップ3 床の種類に応じて固定具を取り付けてください。

- コンクリート床の場合、M8 アンカー ボルトをドリル穴に挿入します。
- 取り付けブラケットを所定の位置に下ろし、ブラケットのネジ穴が取り付け面のドリル穴と揃っていることを確認します。
- 六角ソケット レンチを使用して、ナットをボルトに取り付け、ナットを適度に締めます。
- トルク レンチまたはドライバを使用して、M8 ナットを 24.5 ~ 30 N-m の範囲で締め付けを完了してください。



- 木製床の場合、ドリル穴にプラスチックアンカーを挿入してください。

- f) 取り付けブラケットを所定の位置に下ろし、ブラケットのネジ穴が取り付け面のドリル穴と揃っていることを確認します。
- g) M5 タッピング ネジにワッシャをまだ挿入していない場合は、ここで取り付けます。
- h) #2 プラス ドライバを使用してタッピング ネジを挿入し、適度に締め付けます。その後、トルク ドライバを使用してネジを 6 N-m の範囲で完全に締め付けます。



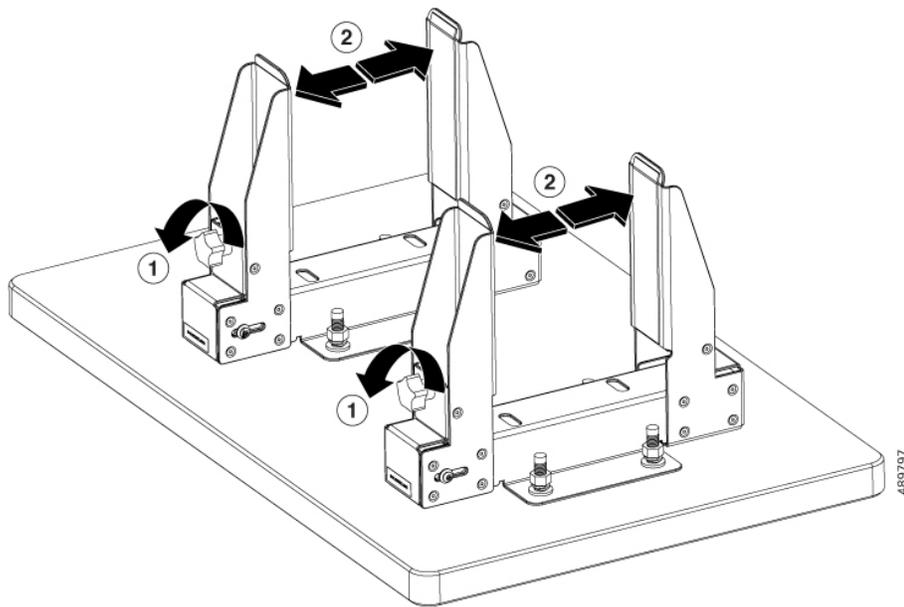
ステップ4 まだ取り付けしていない場合は、取り付けブラケットを開きます。

- a) ブラケットのハンドルをつかみ、反時計回りに回転させます。
- b) M4 スターヘッドドライバを使用して、M4 固定ネジを緩めます。ただし、取り外さないでください。

(注)

次の図は、取り付けプレートの使用を示しています。Cisco は取り付けプレートを提供していないため、取り付けキットには含まれていません。取り付けプレートは不要です。製品を取り付けプレートに設置するか、設置面に直接設置するかはお客様のご判断にお任せします。

シャーシを平面に垂直に取り付ける



c) 少なくともシャーシの幅に開くブラケットを開きます。

次のタスク

シャーシを取り付けキットに取り付けます。

シャーシを平面に垂直に取り付ける

取り付けキットを取り付け面に取り付けた後、次の手順に従って取り付けキットにシャーシを取り付けます。

始める前に

この作業を行うには、次の工具が必要です。

- 鉛筆またはマーキング ペン
- T20 スターヘッド ドライバ
- M4 スターヘッド ドライバ



(注) このトピックの図は、取付プレートの使用例を示しています。Cisco は取り付けプレートを提供していないため、取り付けキットには含まれていません。取り付けプレートは不要です。製品を取り付けプレートに設置するか、設置面に直接設置するかはお客様のご判断にお任せします。

手順

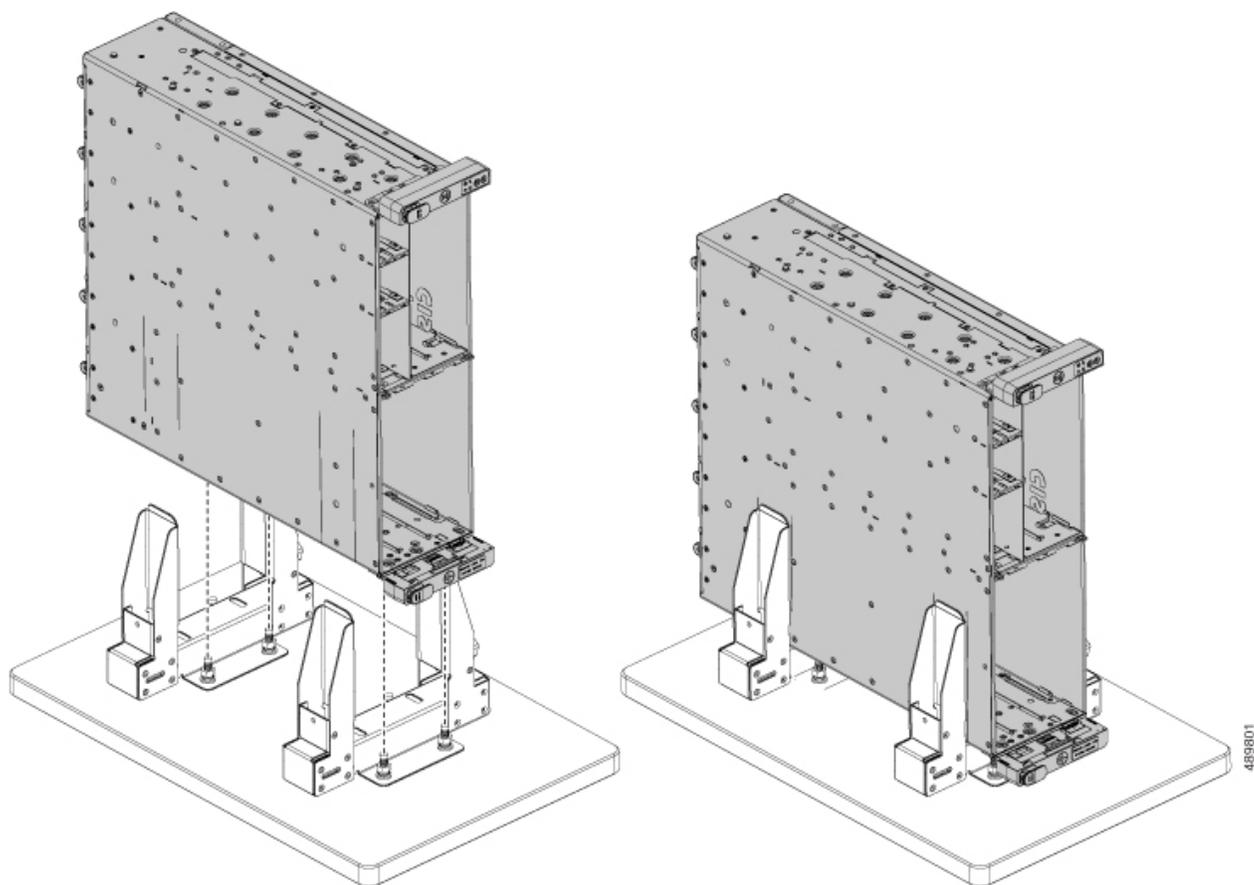
ステップ1 ペンまたは鉛筆を使用して、シャーシの底面にマークを付けて、ブラケットの垂直部分がシャーシに固定される位置を示します。

注意

ネジ穴がクランプ領域の中央にあることを確認します。このネジ穴は、シャーシを固定して動かないようにします。

ステップ2 電源 (PSU) がブラケットの下部 (床に最も近い位置) になるようにシャーシの向きを合わせます。

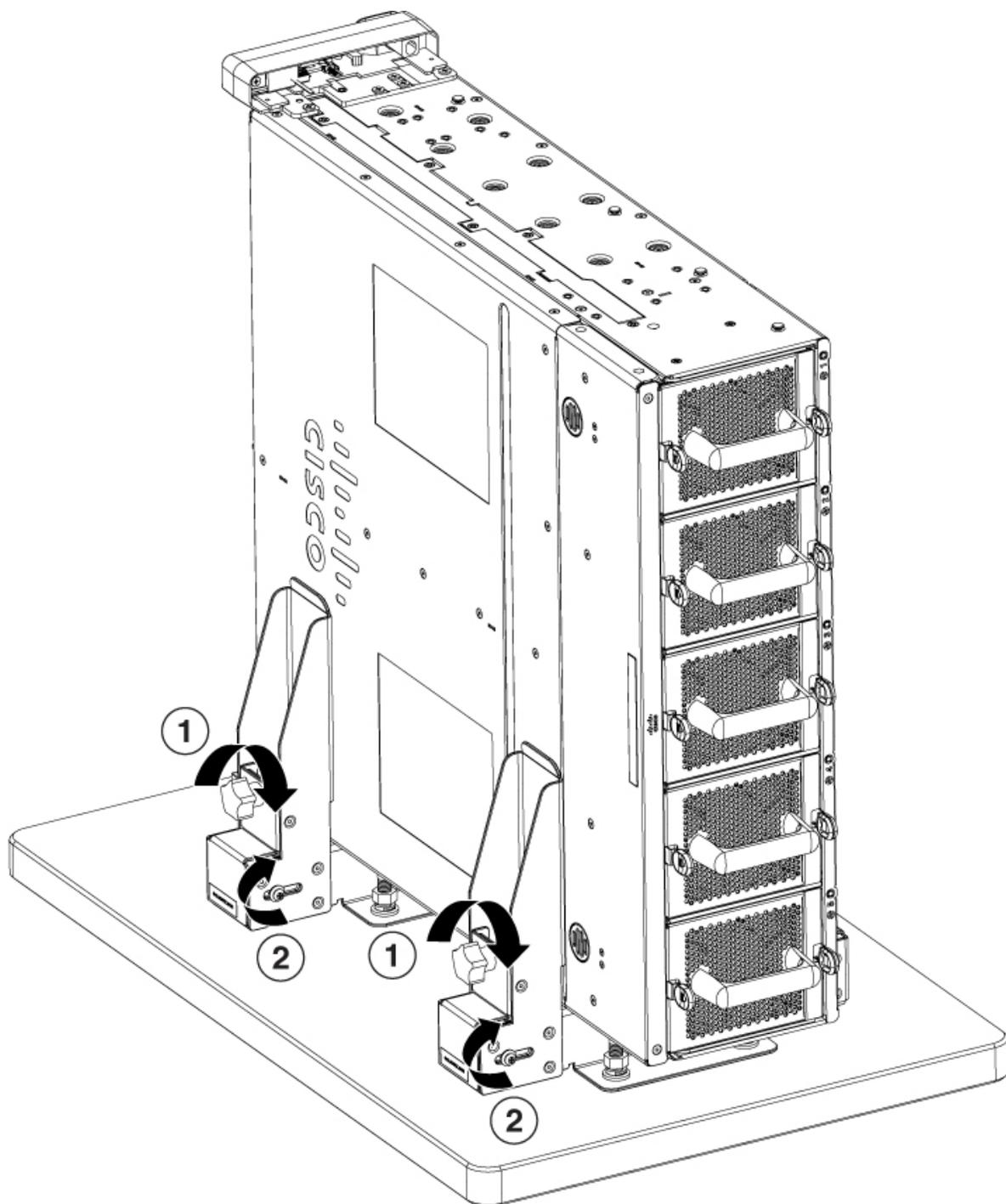
ステップ3 シャーシと取り付けキットのクランプの同調、所定の位置に下ろします。



ステップ4 シャーシが取り付けキットと面一になるようになり、取り付けキットのネジ穴とシャーシのネジ穴の位置が合ったら、取り付けを完了します。

- a) ハンドルをつかみ、時計回りに回して、シャーシをブラケットに固定します。
- b) M4 スターヘッド ドライバを使用して、4つの M4 ネジを取り付けブラケットごとに2つずつ締めます。

シャーシを平面に垂直に取り付ける



489804

2 支柱ラックへのシャーシの設置

Cisco UCS XE9305 シャーシは、EIA-310、2 支柱セントラルマウントラックに設置できます。

シャーシの設置は、装置ラックの2本の支柱に取り付ける2つのマウントブラケットを使用して行います。

- 前面取り付けブラケットのサイズと寸法は固定されています。取り付けブラケットの片側がシャーシの側面に取り付けられ、もう一方の面がラックのブラケットの前面に取り付けられる直角に形成されています。
- 背面取り付けブラケットのサイズと寸法はさまざまです。このブラケットは延長可能で、直角に形成されます。マウントブラケットの片側をシャーシの側面に取り付け、マウントブラケットのもう一方の面を適切な距離だけスライドさせて装置ラックの支柱の背面に取り付けます。

取り付けブラケットを使用することにより、シャーシを中間にマウントして、シャーシの中央を装置ラックに取り付け、シャーシの重量にバランスが取れるようにすることができます。

2 支柱装置ラックにシャーシを取り付けるには、次のトピックを参照してください。

2 支柱ラックへのシャーシの取り付け

シャーシを2 支柱ラックに設置するには、前面および背面の取り付けブラケットをシャーシの両側に取り付け、次にシャーシを設置します。

始める前に

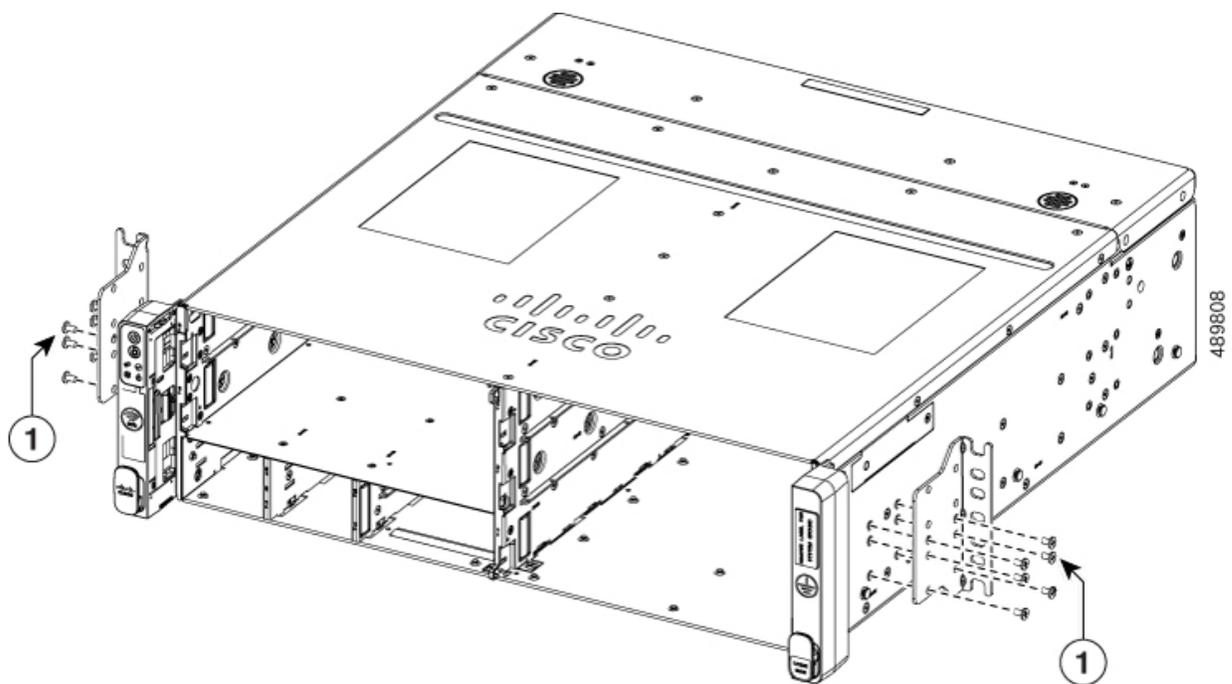
この作業を完了するには、シャーシを支えるためにサーバリフト、シザー ジャッキ、またはその他の機械的な補助装置が必要です。シャーシを持ち上げたり、取り付けたり、取り外したりする際は、必ず空のシャーシを使用してください。シャーシを移動する前に、すべてのコンピューティング デバイス、電源ユニット (PSU)、およびファンを取り外してください。

サーバリフトに加えて、M4プラス ドライバと取り付け用ネジを用意してください。

手順

ステップ1 ブラケットをシャーシ側面のネジ穴の上に位置合わせしてください。

ステップ2 ドライバを使用して、取り付けブラケットのネジ穴に片側6本の取り付けネジを挿入し、ネジを締めます。

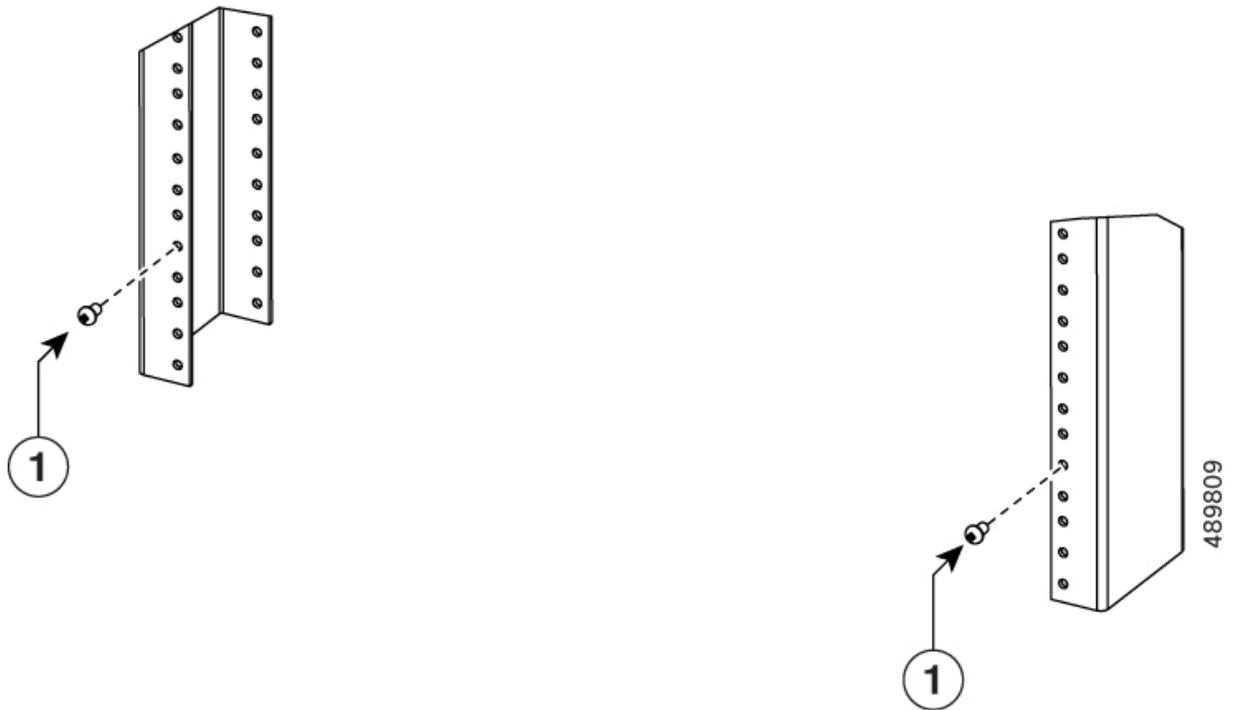


ステップ3 ドライバを使用して、2つの止めネジをラック支柱の前面に挿入します。

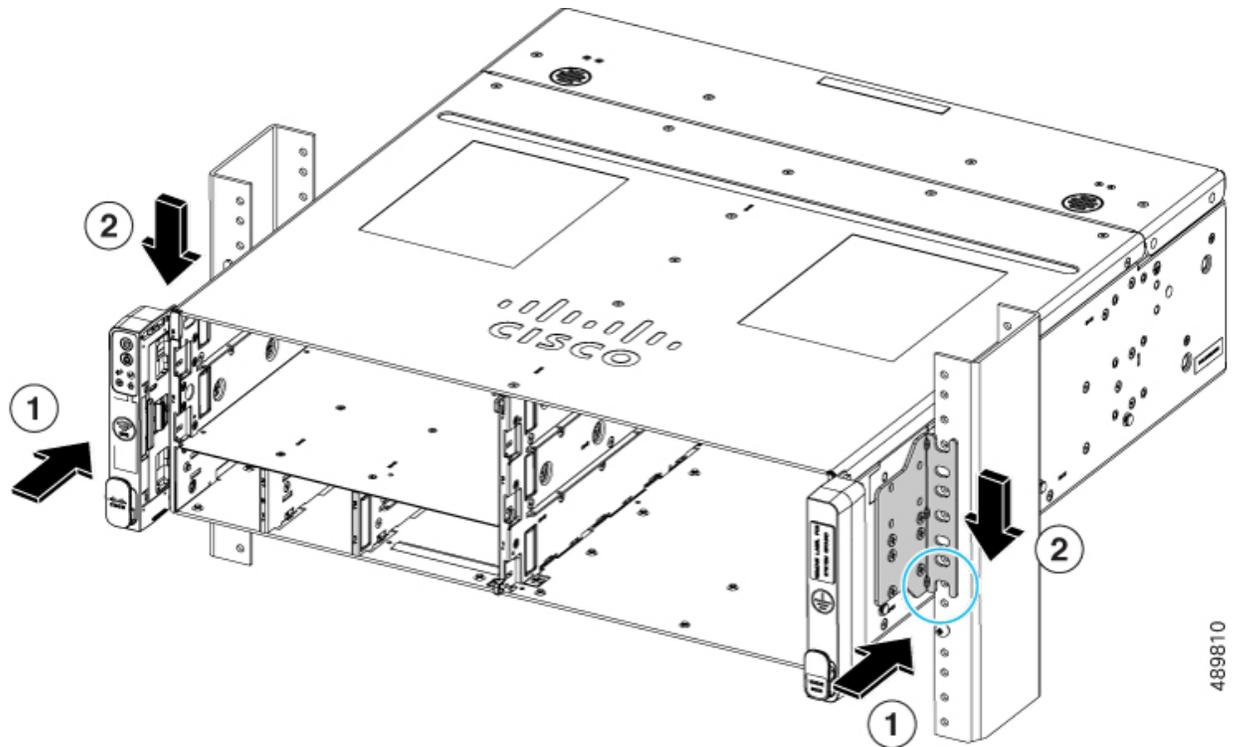
注意

両方のネジが水平であることを確認してください。そうしないと、シャーシの固定金具に止めネジが正しく引っかかりません。シャーシは水平になりません。止めネジが水平になっていない場合は、取り外して再度水平になるようにします。

止めネジを取り付けるときは、止めネジとラック支柱の間にマウントブラケットの厚さが収まるように十分に突起していることを確認してください。



ステップ 4 サーバリフトを使用して、ラックの支柱 (1) に押し付けるようにシャーシを置き、マウントブラケットが固定ネジ (2) に引っかかるようにシャーシをゆっくりとスライドします。



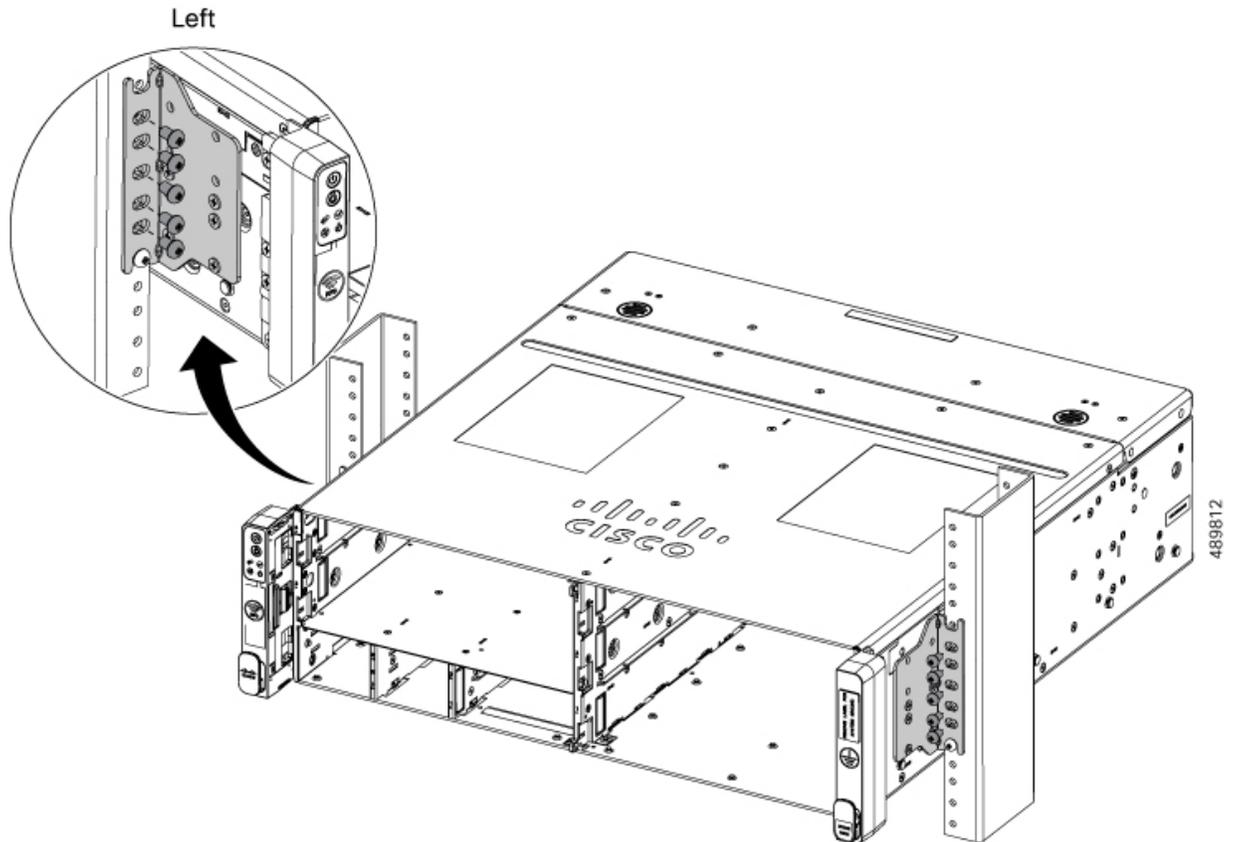
注意

2支柱ラックへのシャーシの取り付け

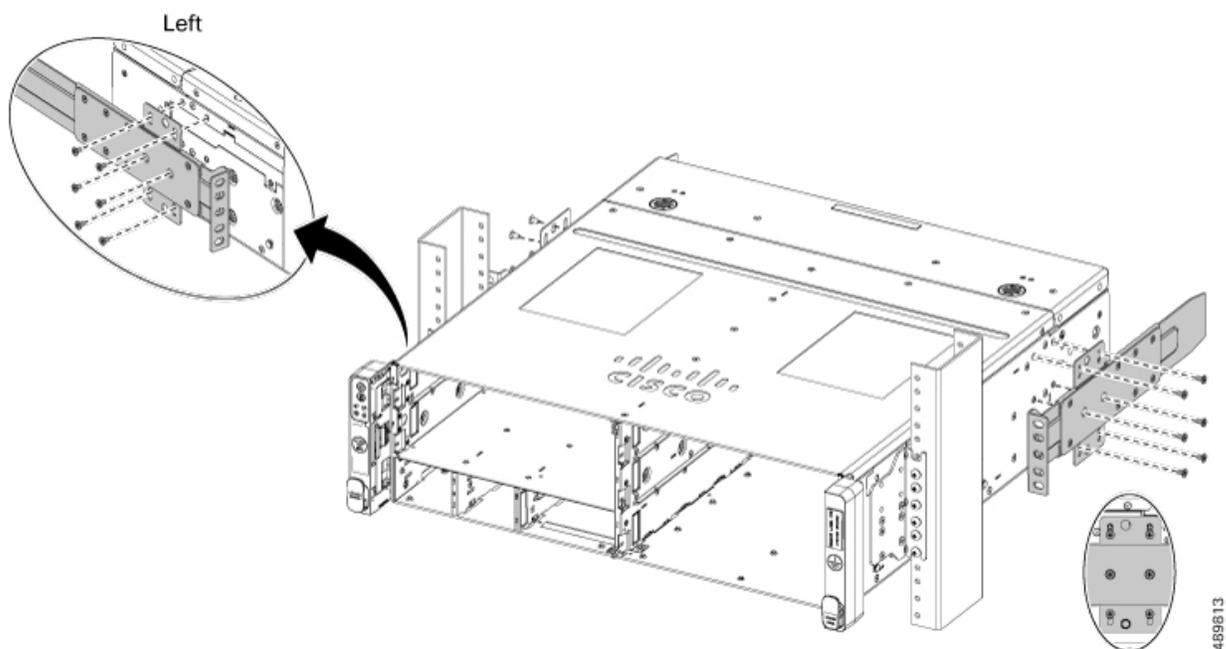
作業を進める前に、両方の止めネジが取り付けブラケットの半円形の切り欠きに完全に固定されていることを確認します。

ステップ5 ラックへシャーシを固定します。

- a) ドライバを使用して、各前面取り付けブラケットを通して固定ネジをラック支柱に取り付けて締めます。

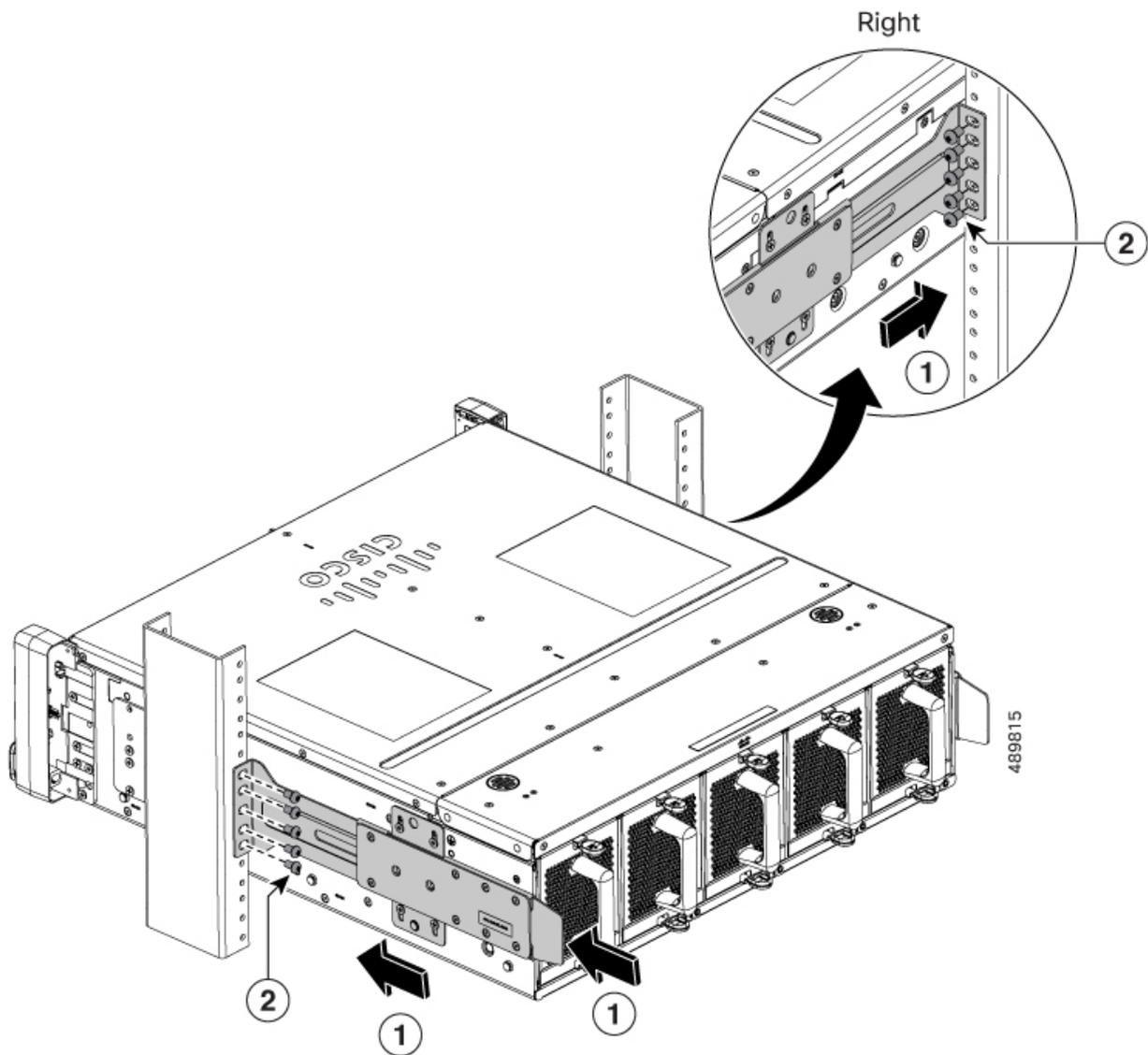


ステップ6 ドライバを使用して、シャーシの両側面に延長可能な背面ブラケットを取り付けます。



ステップ1 背面ブラケットを装置ラックに取り付けます。

- 背面ブラケットを前方にスライドさせて、ラック支柱の背面に接触させます。
- ドライバを使用して、取り付けブラケットにネジを通し、ラック支柱にしっかり締めます。



ステップ 8 サーバリフトを取り外す前に、マウントブラケットとラック支柱のすべてのネジがしっかり締まっていることを確認します。

4 支柱ラックへのシャーシの設置

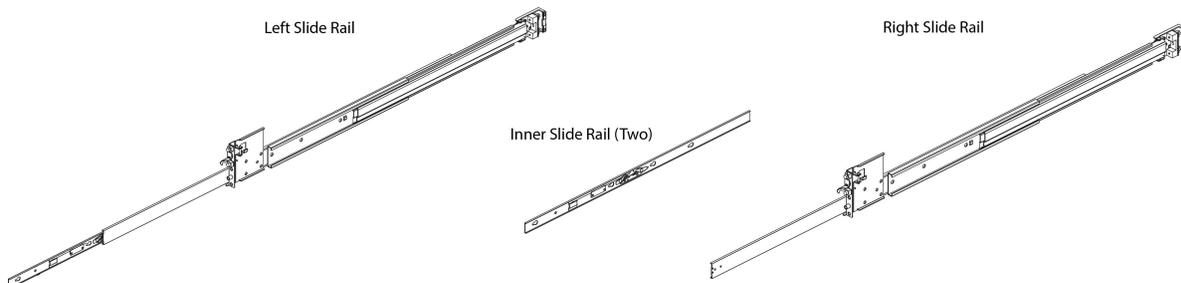
Cisco UCS XE9305 シャーシは、オープンフレームまたはクローズド装置ラックに取り付けることができます。

4 支柱ラックに設置するには、ラックに取り付けるスライドレールキットが必要です。シャーシをレールキットに取り付けると、シャーシの前面と背面に簡単にアクセスできるようにラックから簡単にスライドすることができます。

レールキットハードウェア

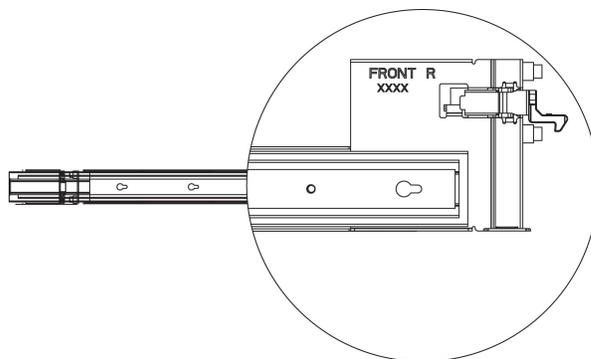
スライディングレールキットには、装置ラックの各側面に1本ずつ、2本のレールが含まれています。

各レールは次の主要部品で構成されます。各レールはスコープを拡大する次の主要部品で構成され、装置ラックとのシャーシの移動を可能にします。



490755

- ラックの前面および背面の隅に取り付ける外部レール（ハンドルレール）。レールキットを取り付けた後、この部品は一定の長さでラックに固定され、シャーシの重量が支えられます。
- ハンドルレールの一部である中央レール。中央のレールはハンドルレールの内側に入れ子になり、伸びます。
- 外部レールの内側にある内蔵部品（内側レール）。外側レールをスライドできるように、内側レールをシャーシに取り付けます。シャーシを取り付けると、内側レールは中央レール内に入れ子になり、シャーシをレールからスライドせて、中央レールとハンドルレールで重量を支えます。
- 次の図に示すように、外部（ハンドル）レールの前面に「FRONT R」と「FRONT L」のロゴがあり、右側のレールと左のレールを表します。適切なレールがラックに取り付けられていることを確認します。

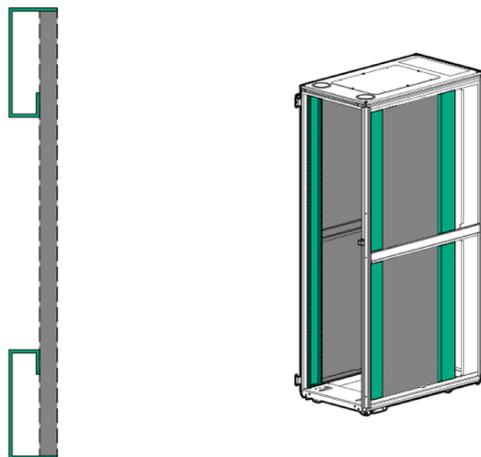


493099

4 支柱ラックの取り付けの注意事項および制限事項

全般的な展開の注意事項と制限事項（9 ページ）に加えて、Cisco UCS XE9305 を 4 支柱装置ラックに取り付ける場合は、次の注意事項と制限事項に注意してください。

- ラックが Cisco UCS XE9305 シャーシと互換性があることを確認します。
 - Cisco UCS XE9305 シャーシは、ほとんどの業界標準の 4 支柱、EIA-310、48.3 cm（19 インチ）ラックと互換性があります。ラック支柱の穴は、9.6mm（0.38 インチ）の正方形、7.1 mm（0.28 インチ）の丸形、#12-24 UNC、または #10-32 UNC になります。レールキットは、ラック支柱の奥行きが 19.3 インチから 31.7 インチをサポートしています。
 - Cisco UCS XE9305 シャーシは、オープンまたはクローズドフレーム 4 支柱装置ラックに取り付けることができます。
 - 4 支柱ラックに設置するには、ラックに取り付けるスライド レールキットが必要です。シャーシをレールキットに取り付けると、シャーシの前面と背面に簡単にアクセスできるようにラックから簡単にスライドすることができます。
- レールキットでは、RETMA 列の内側の端と列間のラック コンポーネントの間に 18 mm 以上の幅が必要です。次の図では、灰色は、前面と背面の RETMA レール間の全スペースを占有するレールを示しています。



493098

- ラックキャビネットに本装置を設置するには、2人以上が必要です。または、サーバリフトまたはシザージャックなどの機械的手段を使用して、シャーシをラックに設置する際にシャーシの重量を支えます。
- 通気口を塞がないでください。通常、150mm（6 インチ）の空間を確保することで適切な空気の流れが得られます。
- デバイスの設置は、ラックの一番下から始めるように計画してください。
- 最も重いデバイスをラックの一番下に設置してください。

- ラックに設置したシャーシの上部や下部のスペースを空けたままにしないでください。シャーシ コンポーネントの破損を防止するため、必ずフィルター パネルを取り付けて空いたスペースを覆い、適切に換気されるようにしてください。
- 一度に複数のデバイスをラックの外側に張り出させないでください。
- ラック マウント型機器の上部には、いかなる物も置かないでください。
- すべての電源コードを、適切に配線され接地されたコンセントに接続してください。
- ラックに複数の機器を設置する際、電源コンセントに過負荷をかけないでください。
- 作業しやすいように、設置時はラック ドアとサイド パネルを取り外してください。

レールキットのセットアップ

このタスクを活用、レールキットから内側レールを取り外します。このタスクを完了するには、各スライディング レールの一部を分解する必要があります。

始める前に

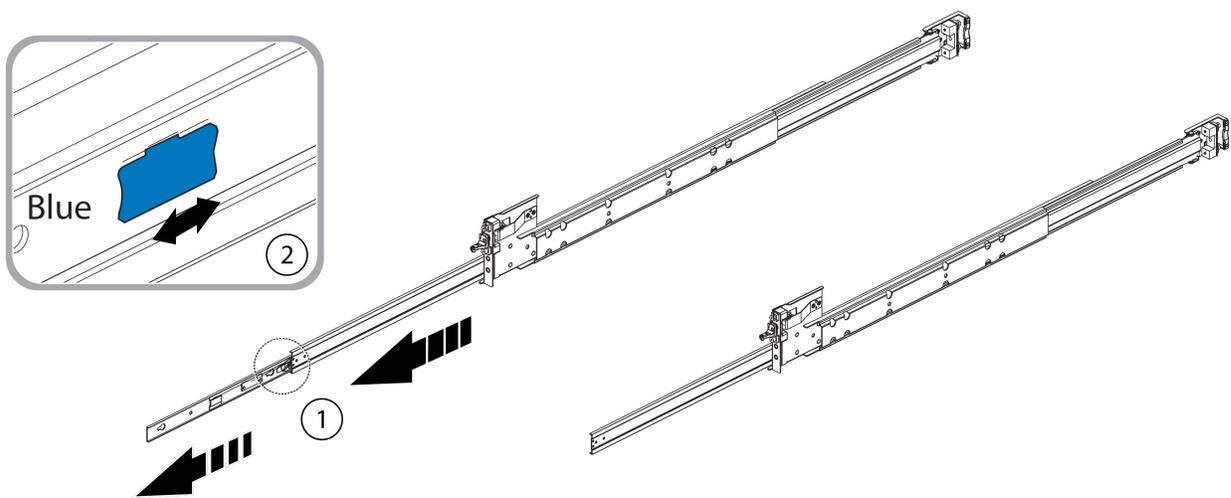
まだ完了していない場合は、[レールキットハードウェア \(33 ページ\)](#) を熟知するようにしましょう。

この作業は工具不要なので、手で完了できます。

手順

ステップ 1 内側レールを取り外します。

- a) レールを伸ばします。
- b) レールが伸びなくなったら、青色のストッパー タブをスライド内側のレールを完全に引き出し、スライディング レールの残りの部分から外します。



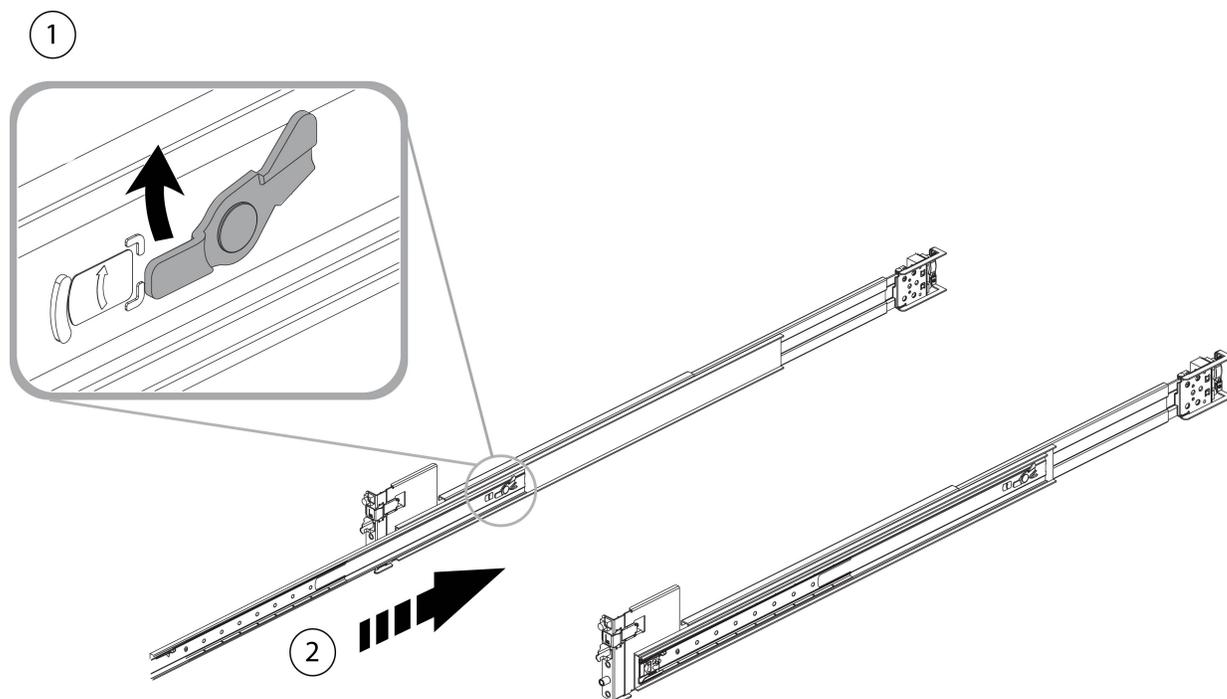
490756

この時点で、スライディングレールごとに2つのピースが必要になります。内側レールは1つの部品であり、ハンドルレールと中央のレールはもう一方の部品です。内側レールを脇にセットします。すぐに使用することになります。

ステップ2 スライディングレールを閉じます。

- a) ハンドルレール (1) のロッキングラッチを回転させます。
- b) 中央のレールをハンドルレール (2) に戻します。

この手順を完了すると、レールは完全に組み立てられている必要があります。



490757

次のタスク

内側レールをシャーシに取り付けます。

シャーシへの内側レールの取り付け

内側レールは、2つの接続ポイントを通してシャーシのそれぞれの側に取り付けます。

- 内側レールのネジ穴がシャーシ側面のキャッチピンに合致します
- 2本の M4 固定ネジでレールを固定し、キーホールとピンが外れるのを防ぎます。

シャーシの各側面に内側レールを取り付けるには、次の手順を活用します。

始める前に

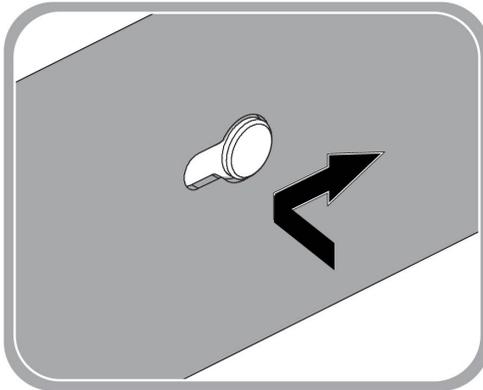
内側レールをスライドレールの残りの部分からまだ分離していない場合は、ここで実行します。この作業を完了するには、内側レールを取り外す必要があります。

M4 プラス トルク ドライバと 2 本の M4x4 プラス ネジを用意します。ネジは内側レールを所定の位置にロックするために使用します。

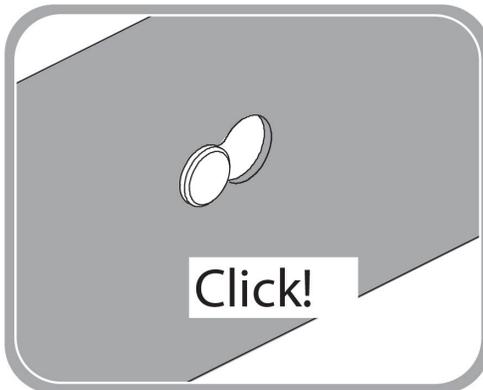
手順

ステップ1 シャーシの両側で、内側レールのキーホールにシャーシ キャッチ ピンを挿入します。

①



②

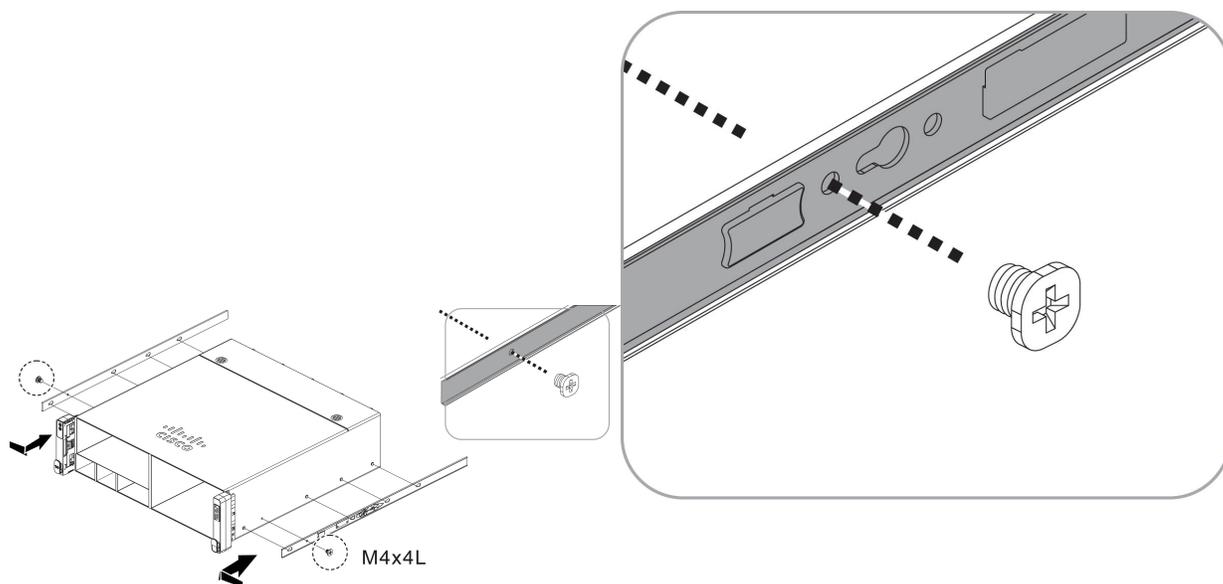


490758

注目

内側レールがシャーシに正しく装着されると、キーホールとピンがしっかりと合致したときにカチッという音が聞こえます。

ステップ2 内側レールをシャーシに取り付けたら、ドライバを使用してM4固定ネジを片側に1本ずつ取り付けます。これらのネジのトルク仕様は1.4 ~ 1.7 Nm です。



490759

次のタスク

次の手順に従って、スライドレールを機器ラックに取り付けます。

レールキットをラックに取り付ける

各スライディングレールは、装置ラックの前面支柱と背面支柱の距離に合わせて延長されます。スライディングレールをラックに取り付けるには、レールのサイズを適切に設定してから、前面および背面の取り付けブラケットでロケータペグを使用して各レールを取り付けます。レールの各終端を簡単に識別できます。

- フロントエンドにはロケータペグと固定ラッチがあります。
- 後端にはロケータペグがあり、ラックの背面支柱の両側に取り付ける延長可能なクランプの中にあります。

スライディングレールを取り付けるときは、各端がもう一方と平行であることを確認してください。レールの片側が他よりも高く、または低くなるように取り付けることはしないでください。



注意 レールを取り付けるときは、ねじったり、曲げたり、回転したりしないでください。容易にスライドできるように、まっすぐにする必要があります。また、前端と後端を配置する必要があります。

始める前に

シャーシの各側面に内側レールをまだ取り付けしていない場合は、ここで取り付けます。このタスクを完了するには、内側レールをシャーシに取り付ける必要があります。

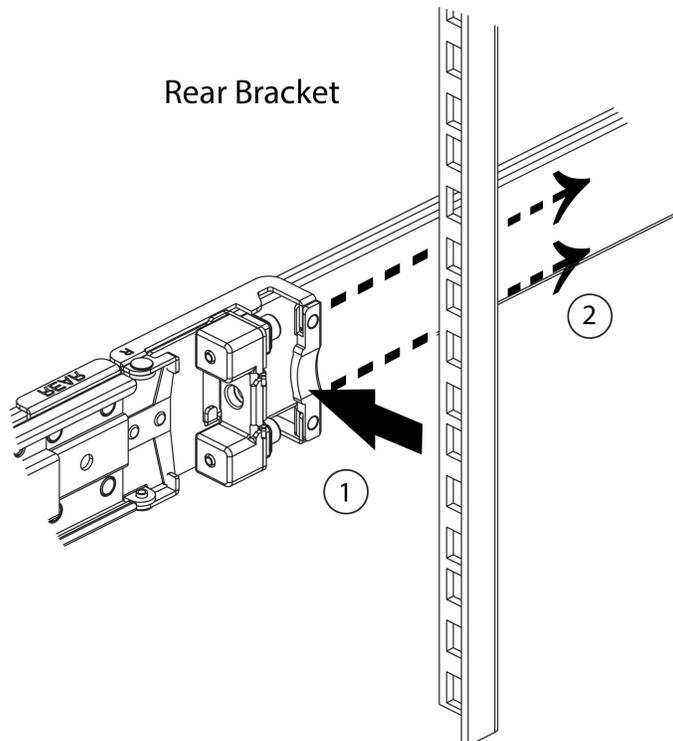
この作業は工具不要です。これは自分で行うことができます。

手順

ステップ1 装置ラックの前面支柱と背面支柱間の距離までレールを伸ばします。

ステップ2 背面取り付けブラケットを背面支柱に取り付けます。

- a) 背面取り付けブラケットで、押してクランプを外します。
- b) 装置ラックの背面支柱の奥行きに合わせて、クランプを引き離します (2)。

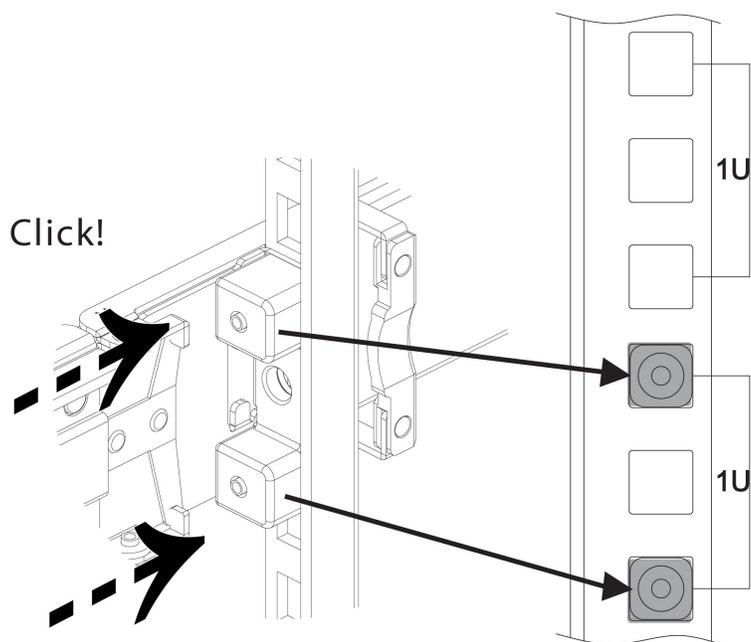


490764

- c) クランプを締めて支柱に固定されるまで閉じます。クランプがしっかり取り付けられているときは、カチッという音がします。

注意

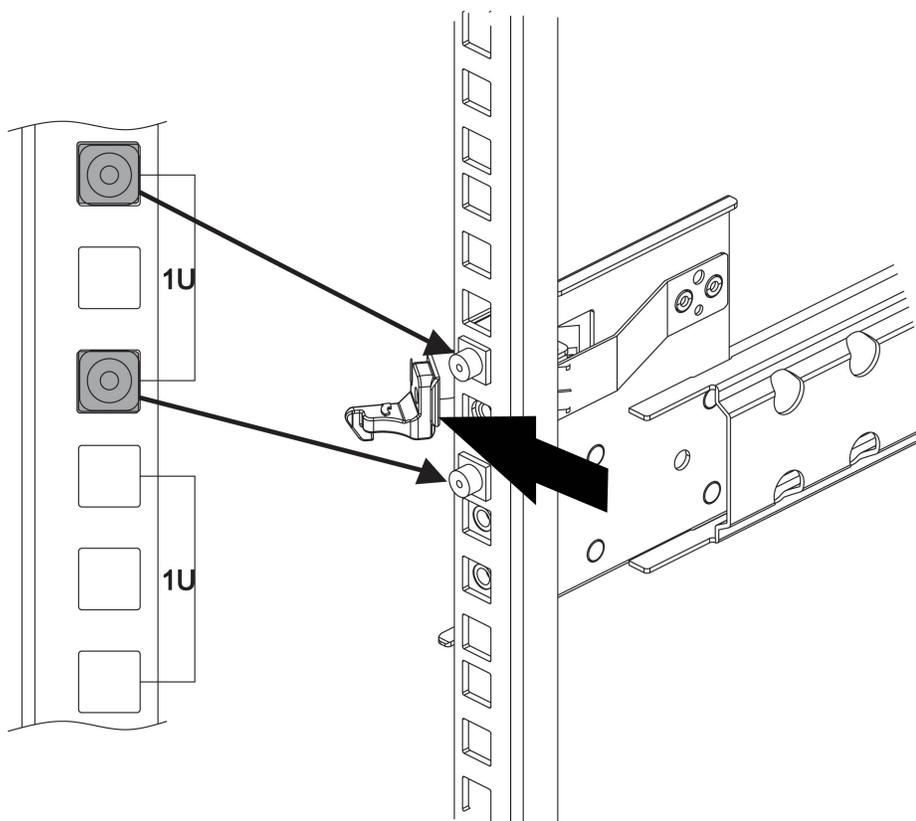
クランプの内部にはロケータ ペグがあり、丸穴ラックの場合は丸形、角穴ラックの場合は角型ペグが取り付けられています。円形ペグが丸穴ラックにしっかりと収まっていること、または四角形ペグが角穴ラックにしっかりと取り付けられていることを確認します。ケージナットがある場合は、それらを取り外して、ロケータ ペグを正しく取り付けられるようにします。



493100

ステップ3 前面取り付けブラケットを前面支柱に取り付けます。

- a) 前面支柱に合わせるためにレールを延長しながら、固定ラッチを外側に押して前面支柱から外れるようにします。



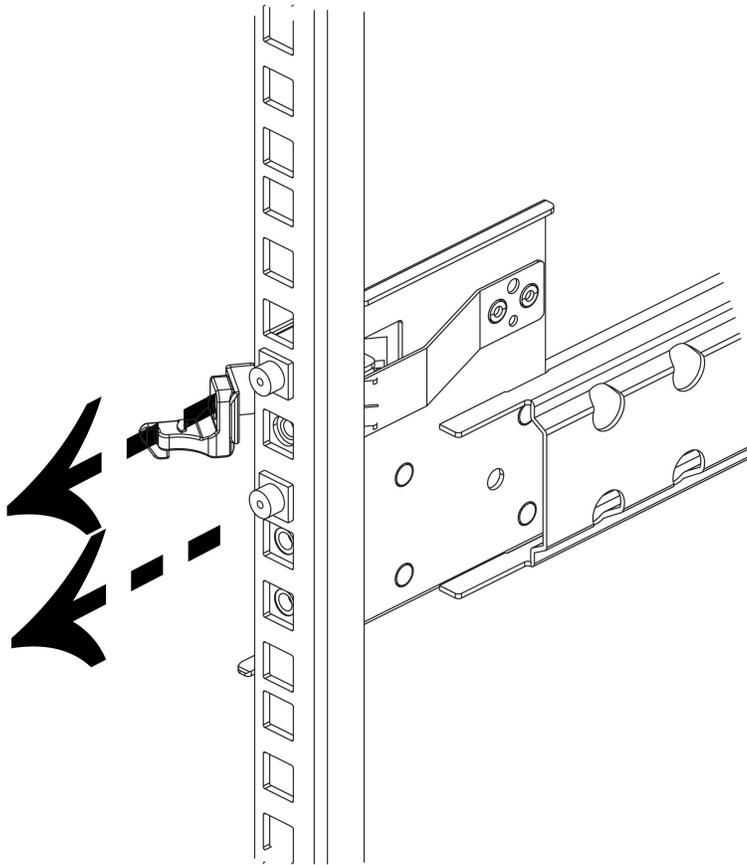
490765

- b) ロケータ ペグが装置ラックに挿入されるように、レールを完全に引き抜きます。

注意

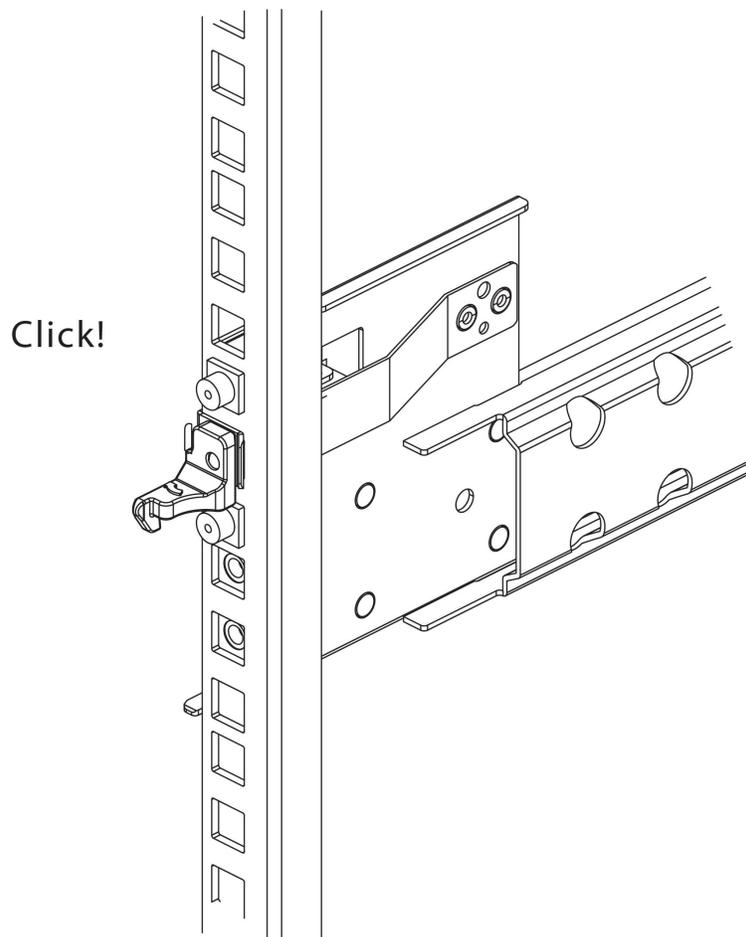
ロケータ ペグの間には1RUあり、固定ラッチをラックの所定の位置に閉じることができます。円形ペグが丸穴ラックにしっかりと収まっていること、または四角形ペグが角穴ラックにしっかりと取り付けられていることを確認します。ケージナットがある場合は、それらを取り外して、ロケータ ペグを正しく取り付けられるようにします。

ロケータ ペグをラックに挿入する妨げにならないように、固定ラッチを支柱の外側に保留。



490766

ステップ4 ロケータペグを使用してレールを取り付けたら、固定ラッチをロケータペグ間の所定の位置に押し込みます。



493101

注意

固定ラッチがラックに固定されていることを確認します。固定ラッチが前面ラック支柱に正しく取り付けられたら、カチッという音がします。

ステップ5 この手順を繰り返して、他のレールキットも取り付けます。

ステップ6 シャーシをレールに取り付ける前に、すべてのマウントブラケットとレールを調べて、正しく設置および取り付けられていることを確認します。

次のタスク

シャーシをラックに取り付けます。

ラックへのシャーシの取り付け

シャーシを取り付けるには、シャーシをラックにスライド、シャーシの内側レールをスライドレールの中央レールに挿入します。正しく取り付けたら、シャーシが誤ってラックからスライドないように、固定ネジを使用します。

実際に取り付けを試みる前に、この作業を少なくとも1回読んで内容を理解することを推奨します。

次のタスクを活用、スライドレールを使用してシャーシをラックに取り付けます。

始める前に

シャーシにスライドレールをまだ取り付けしていない場合は、ここで取り付けます。

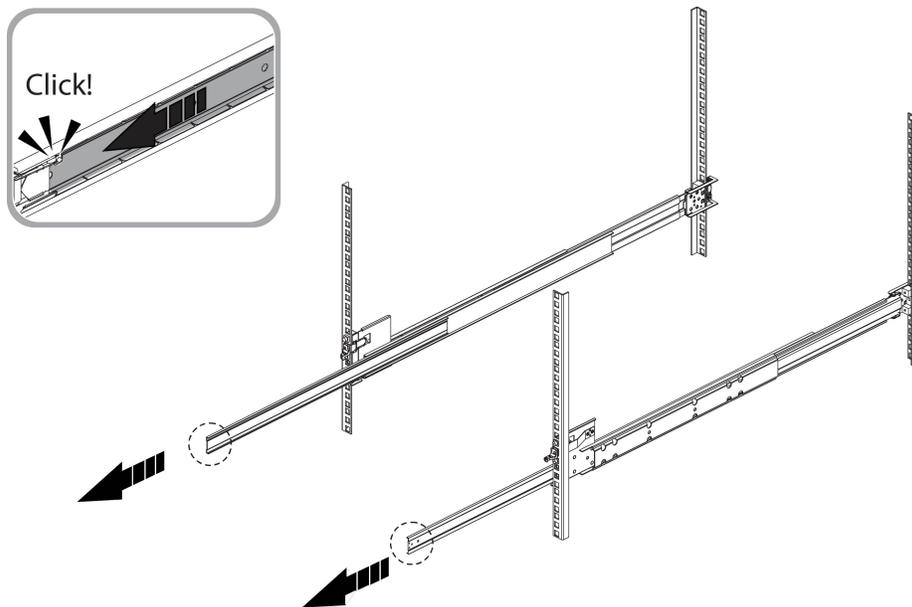
この作業を完了するには、シャーシを支えるためにサーバリフト、シザー ジャッキ、またはその他の機械的な補助装置が必要です。シャーシを持ち上げたり、取り付けたり、取り外したりする際は、必ず空のシャーシを使用してください。シャーシを移動する前に、すべてのコンピューティングデバイス、電源ユニット (PSU)、およびファンを取り外してください。

サーバを持ち上げる他に、#10 プラス ドライバと2つの #10-32 プラス ネジを用意します。

シャーシを取り付ける前に、レールを数回、レールを数回増やして、ラックに正常にスライドことを確認します。レールが容易にスライドはずです。レールを延長または戻すときは、スキップしたり、キャッチしたりしないでください。

手順

-
- ステップ 1** 中央のレールをロック位置まで伸ばして、ボールベアリング保持具が中央のレールの前面にあることを確認します。



490772

ステップ2 シャーシをスライドレールに装着します。

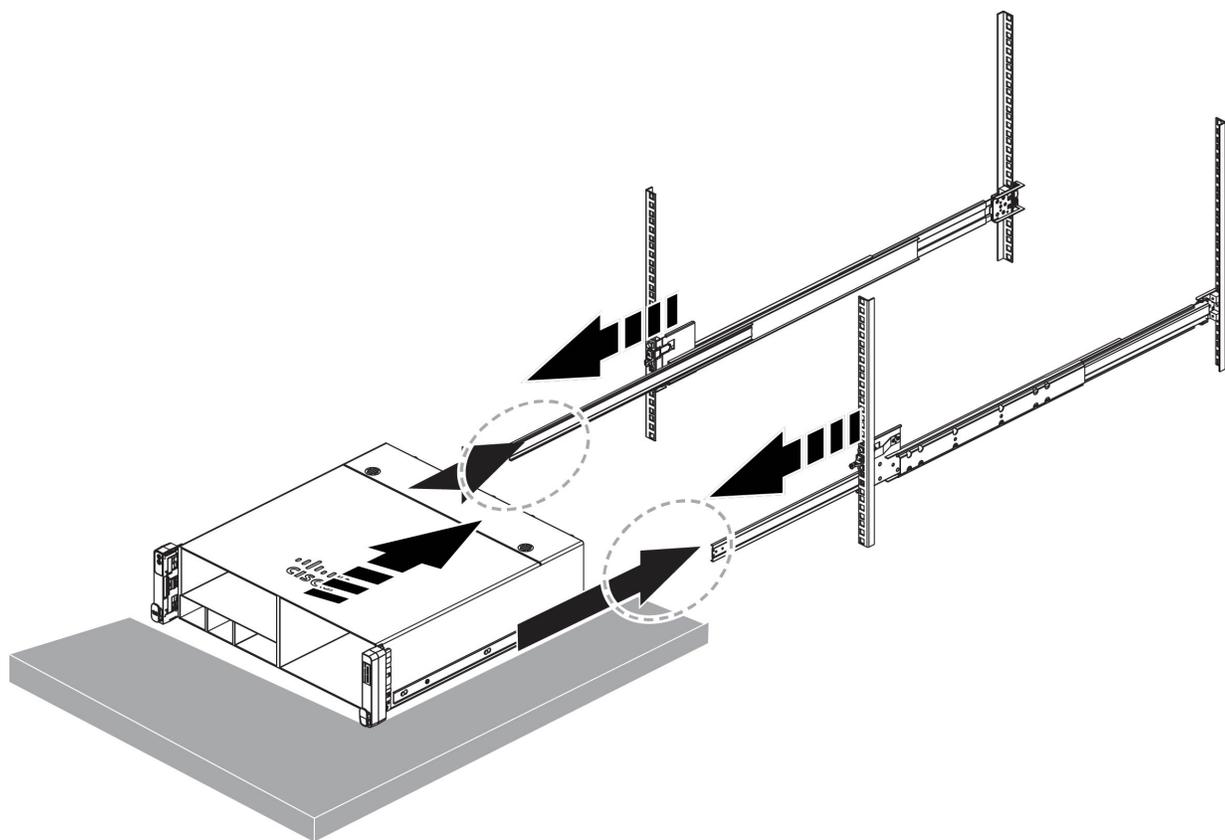
- a) シャーシの内側レールを、ラックに取り付けられたスライドレールに水平に合わせます。
- b) シャーシを水平に保ち、サーバリフトをラック内に前方に移動して、シャーシのレールがスライドレールに合うようにします（ただし、シャーシは、まだ挿入しないでください）。

注意

サーバリフト、シザージャック、またはその他の機械的手段を使用してシャーシの重量を支え、シャーシの取り付けを完了させてください。シャーシの取り付け中は、持ち上げようとしないでください。

注意

シャーシを過度に挿入する前に、内側レールとスライドレールが配置していることを確認します。そうでない場合は、正しく配置されるまでこの手順を繰り返します。

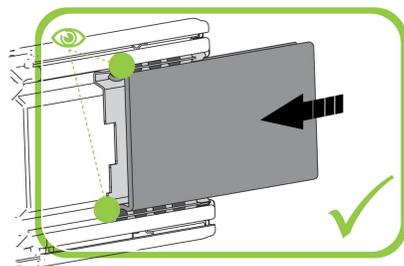
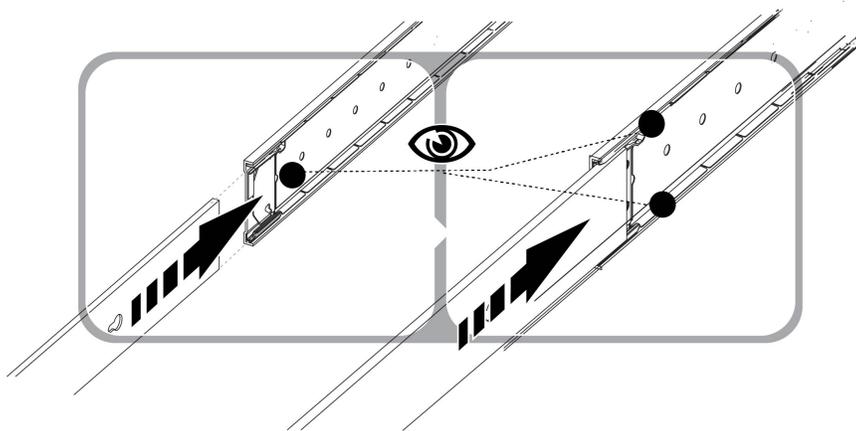


490773

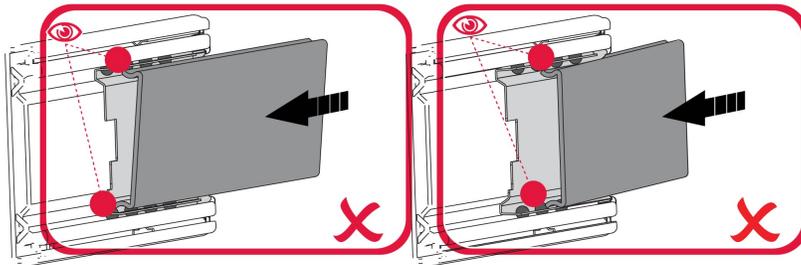
- c) シャーシの内側レールの上下を目視で検査し、それらがラックに設置したレールの先端と合っている場所を検査します。

(注)

2つの要素が正しく一致することが非常に重要です。次の図に示すように、部品が正しく収まっていることを確認してください。レールが正しく配置されていない場合、または正しく配置されていない場合は、シャーシを取り外し、レールを正しく配置しなおす必要があります。



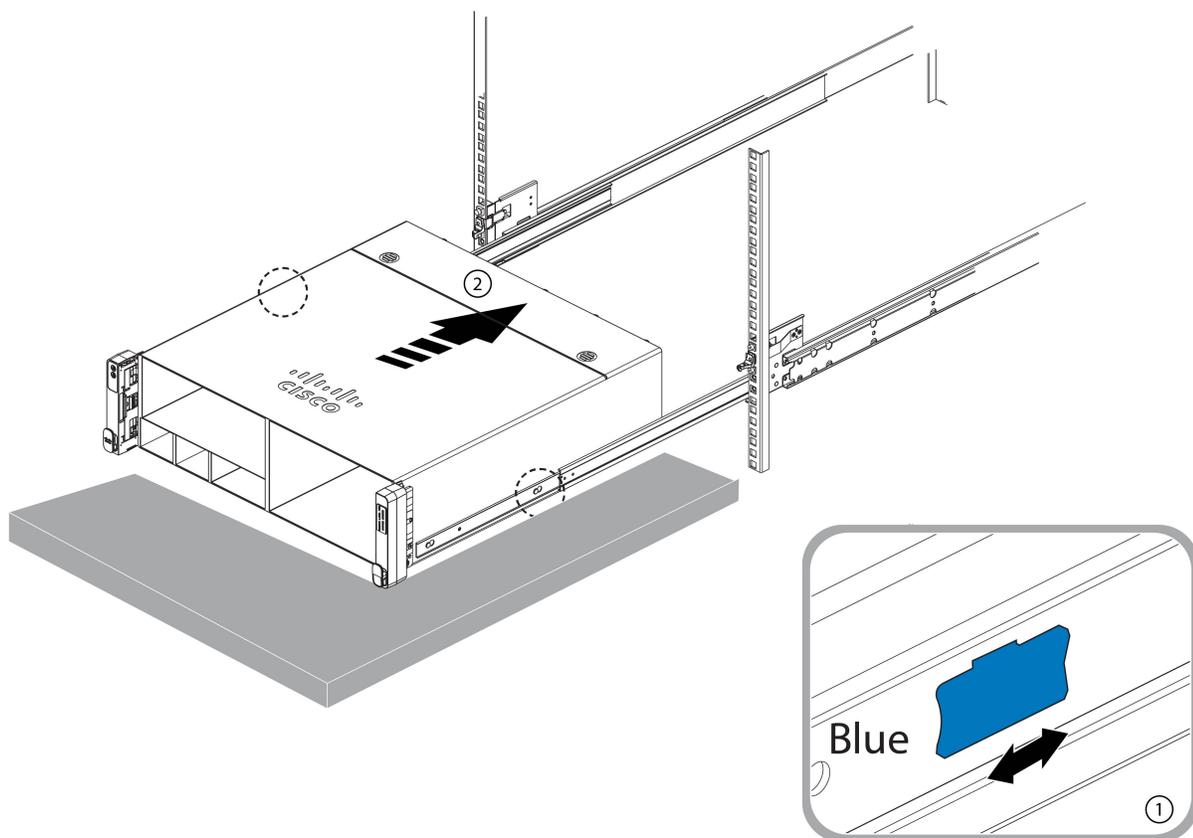
Correct Alignment



Incorrect Alignments

493102

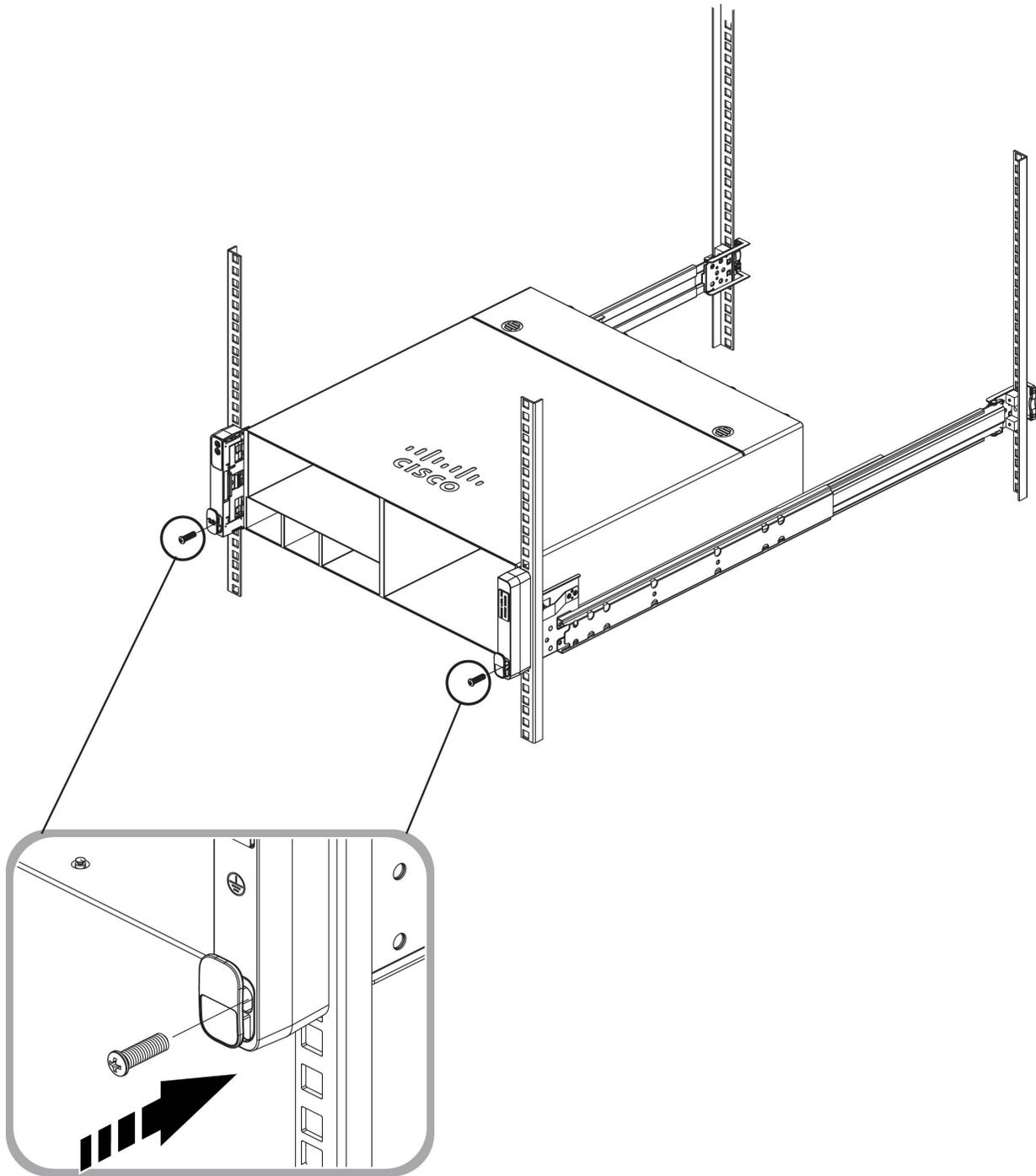
- d) レールを適切に配置したら、シャーシ止め具に達するまでシャーシをゆっくりと挿入します。
- e) シャーシがシャーシ止め具に当たるまで、内側のレールの青色のリリースタブをスライドロックを解除し (1)、シャーシを所定の位置にスライド続けます (2)。



490917

ステップ3 #10 プラス ドライバを使用して、1本の#10 32-30L ネジを各前面取り付けブラケットに挿入して、シャーシをラックに固定します。

これらのネジのトルク仕様は2.0 ~ 2.4 Nm です。



490774

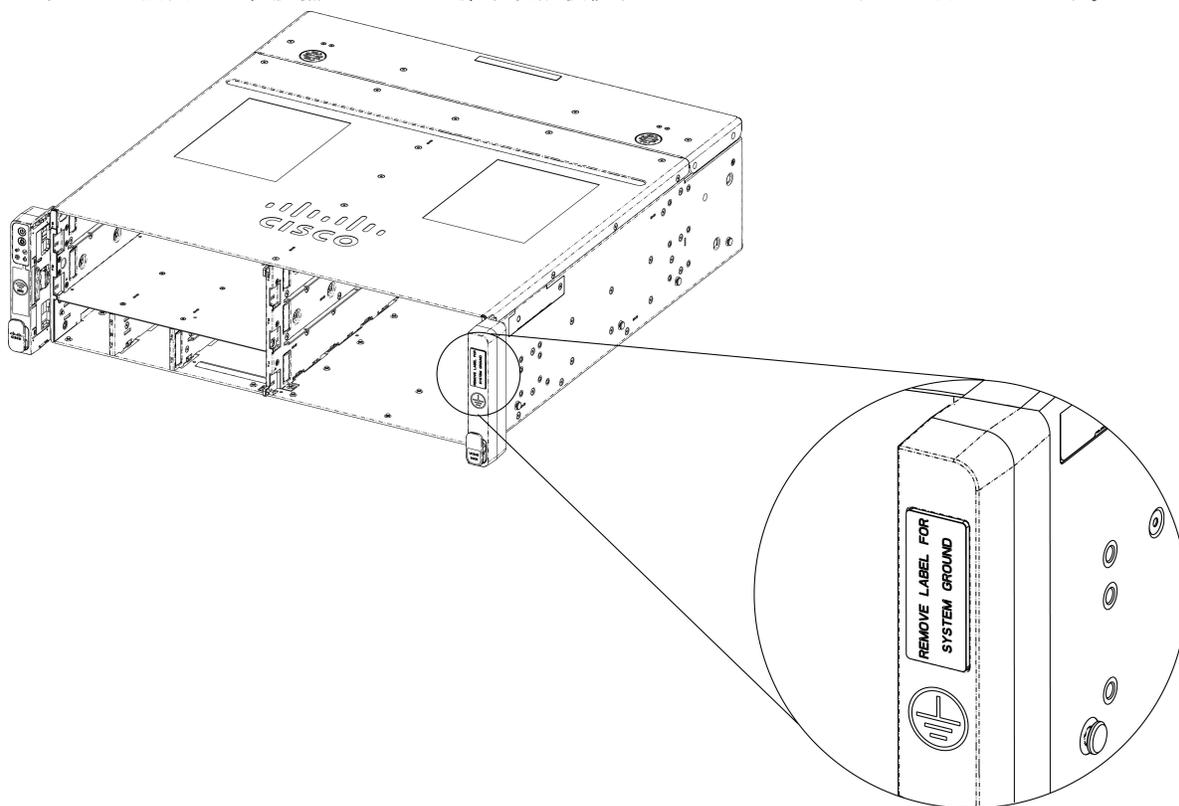
アース接続

Cisco UCS XE9305 モジュラ システムには、シャーシを設備のアースに接続するための次の部品を含むアクセサリ キットが付属しています。

- アースラグ、90° (1)
- M4x8 mm なベネジ、 (2)

アクセサリキットにはアース線は含まれていません。アース線は設置場所にすでに設置されている必要があります。

シャーシの前面には、設備のアースに標準規格接続するためのアースパッドが付いています。



490984

油またはその他の汚れが接触面に影響しないように、アースパッドに保護ラベルが貼付されています。アースパッドのラベルは、取り外してから設備のアースに接続する必要があります。

アースに接続するには、アース ラグを組み立てて、シャーシのアース パッドにアース ラグを取り付けます。次の項を参照してください。

- [アースの考慮事項 \(52 ページ\)](#)
- [設備のアースへのシャーシの取り付け \(54 ページ\)](#)



危険 電気回路の取り扱いについては、すべての安全プロトコルに従う必要があります。シャーシをアースに接続している間は、シャーシの回路の電源を切ることをお勧めします。

保護アースの接続は、電源接続よりも前に、後で切断する必要があります。

アースの考慮事項

アースとアースのコンプライアンス



警告 ステートメント 1024 - アース導体

この装置は、接地させる必要があります。感電のリスクを軽減するため、絶対にアース導体を破損させたり、アース線が正しく取り付けられていない装置を稼働させたりしないでください。アースが適切かどうかははっきりしない場合には、電気検査機関または電気技術者に確認してください。



警告 ステートメント 1099 - システム電源を接続する前

高タッチ/リーク電流：システムの電源接続の前に、保護アースを恒久的に接続する必要があります。



警告 ステートメント 366：本機器は、電力を供給する前に、お客様が準備したアースケーブルを使用して外部接地する必要があります。接地が適正であるかどうか分からない場合は、電気検査機関または電気技術者に相談してください。ステートメント 366

アース ラグ

シャーシをアース接地する作業は、アース ケーブルとアース ラグを組み立てた後、アース ラグとアース ケーブルをシャーシのアース パッドにネジ止めすることで完了する。



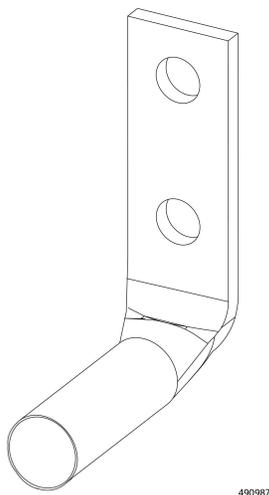
注意 アースラグは、アクセサリキットに含まれています。デフォルトのアースラグは90度の角度で製造されています。設置時に異なる角度のアース ラグが必要な場合は、アース ラグを曲げると損傷する可能性があります。

必要に応じて、追加のアース ラグや異なる角度のラグは、Panduit などのサードパーティの小売業者を通じて入手可能です。サードパーティ ベンダーから入手したアース ラグまたはアース ケーブルが、設置に物理的および電氣的に適切であることを必ず確認してください。



- (注) 次の情報は、北米での標準 AC 電源の設置に関するものです。場所によって異なる仕様が必要になる場合があります。設置場所に適したアース ラグとアース ケーブルを使用していることを確認します。

アース ラグは、次の例のように 2 スタッドの銅製のラグである必要があります。



- (注) プラスとマイナスの導線は、上向きまたは下向きに取り付けることができます。

供給線および帰線には Panduit LCD4-14A-L コネクタ (または同等品) を使用でき、90 度のアース ラグ配線には、Panduit LCD4-14A コネクタ (または同等品) を使用できます。どちらのコネクタにも、中心から中心までの長さが 1.59 cm (0.625 インチ) の 0.64 cm (0.25 インチ) 穴付きのダブルラグがあります。

アース パッド

アース パッドは、組み立てた設置場所でのアース ケーブルを受け取り、アース ラグ用の接触面になります。

アース パッドには、接触面を保護する保護ラベルが付いています。アース ラグを取り付ける準備ができるまで、シャーシにラベルを貼り付けたままにします。



- 注意** 必要に応じて、ラベルをはがしてアース パッドを露出させます。指だけでラベルをはがしません。ドライバまたはその他の工具を使用してラベルをはがさないでください。接触面を傷付けたり、損傷したりする危険があります。



(注) アースパッドの保護ラベルは、シャーシの出荷時に貼り付けられています。ラベルを再度添付することはできません。ラベルをはがした後、廃棄することができます。

シャーシを移動したり、アース ケーブルを取り外したりする場合は、アースパッドを常に清潔で、損傷していないことを確認してください。アースパッドが汚れている場合は、**洗浄剤や洗浄剤を使用しないでください。**



注意 アース ケーブルをアースパッドに接続する場合は、1.24 ~ 1.69 Nm (11 ~ 15 インチ ポンド) のトルクでネジを締めます。ネジを締めすぎないでください。ネジが損傷したり、つぶれる危険があります。

設備のアースへのシャーシの取り付け

施設のアースにシャーシを取り付ける手順には、施設のアース ケーブルを付属のアースラグに接続してから、組み立てたケーブルをシャーシに取り付けることが含まれます。

始める前に

まだ確認していない場合は、この手順を実行する前に [アースの考慮事項 \(52 ページ\)](#) を確認してください。

次のツールを収集します。

- ワイヤストリッパ
- ワイヤ圧着工具
- #2 プラス ビット付きのトルク調整可能なドライバ。

手順

ステップ 1 シャーシの前面にある業界標準のアース記号で示されているシャーシアースパッドの位置を確認します。

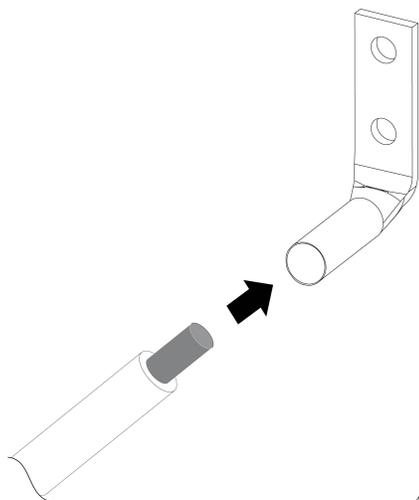
(注)

アースパッドの保護ラベルは、まだはがさないでください。

ステップ 2 アース ケーブルを組み立てます。

- a) ワイヤストリッパを使用して、アース ケーブルの端から 0.75 インチ (19 mm) ほど、被膜をはがします。
- b) むき出しになったアース ケーブルの端を、アース ラグの開放端に差し込みます。

米国で設置する場合は、6-AWG 線をお勧めします。国または地域に応じて、適切なアースラグとアース ケーブルを使用してください。



490988

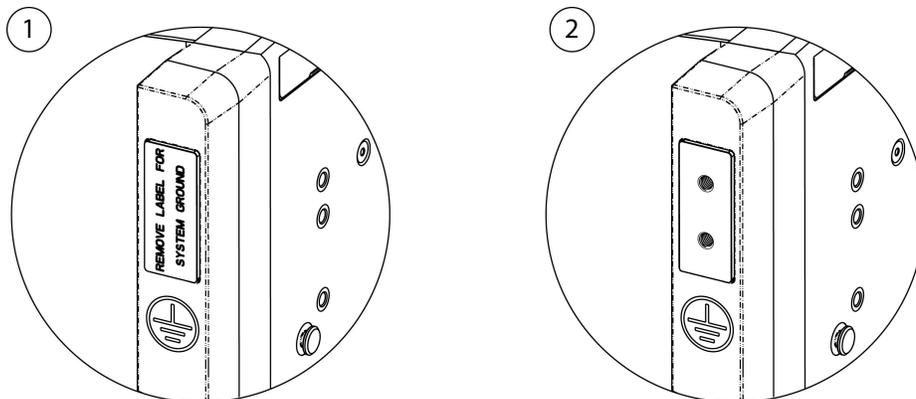
- c) 圧着工具を使用して、アース ラグにアース ケーブルを固定します。
- d) アースケーブル（Cisco以外の製品）の反対側の端を処理し、設置場所の適切なアースに接続します。

ステップ3 アース ケーブルを取り付けます。

- a) 指でアース パッドの保護ラベルをはがします。

注意

ドライバ、はさみなどの工具を使用してラベルをはがさないでください。アース パッドを損傷するおそれがあります。

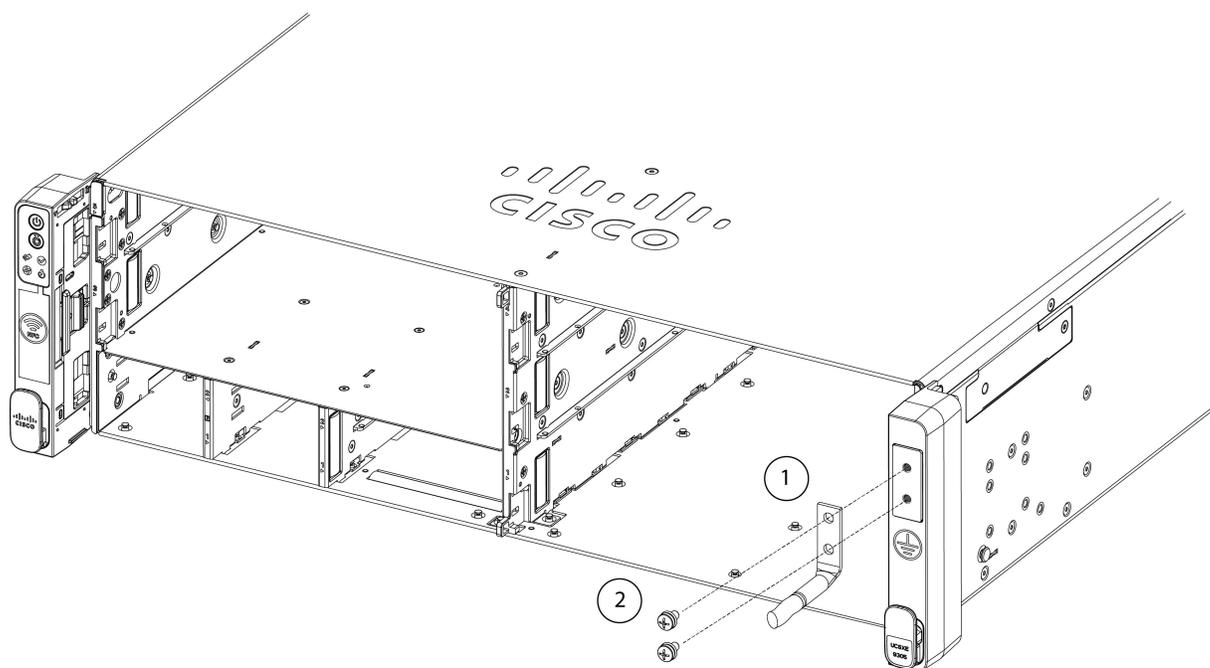


490985

- b) アース ラグの端末穴がアース パッドの端末穴に合うようにアース ラグを配置します。
- c) #2 プラス ドライバまたはトルク ドライバを使用し、2本の M4 x 8mm なベネジを挿入して締め付け、アース ケーブルをシャーシに固定してください。

注意

1.24 ~ 1.69 Nm (11 ~ 15 インチポンド) のトルクでネジを締めます。ネジを締めすぎないでください。ネジが損傷したり、つぶれる危険があります。



490986

1	ラグがシャーシアースパッド上に配置された組み立て済みアースケーブル	2	アースケーブルをネジで締め、シャーシのアースパッドに固定します。
---	-----------------------------------	---	----------------------------------

エアーフィルタの取り付け

エアーフィルタアセンブリは、2本の非脱落型ネジでセキュリティベゼルに取り付けられます。

図に示すように、ベゼルとフィルタアセンブリのこの内側の面に矢印があります。これらの矢印は、それぞれを正しく取り付けるために面する必要がある方向を示す配置機能です。

始める前に



注意 エアーフィルタアセンブリを設置するときに、エアーフィルタアセンブリの側面にスロットがある場合、ケーブル管理アセンブリ (CMA) のスロットと正しく位置合わせする必要があります。詳細については、「[エアーフィルタアセンブリの調整に関する考慮事項](#)」を参照してください。

手順

ステップ1 フィルタアセンブリをセキュリティベゼルに接続します。

- a) フィルタアセンブリを調べて、フォームフィルタが正しく取り付けられていることを確認します。

フィルタは、フィルタアセンブリ上で平らになっていて、しわや突起がないようにする必要があります。フォームフィルタがフィルタアセンブリに対して平らになっていない場合、フィルタアセンブリとベゼルの間にフォームフィルタが挟まれたり、フィルタアセンブリをベゼルに取り付けるときにフィルタが障害になることがあります。

- b) ベゼルとエアーフィルタアセンブリの配置矢印の位置を確認します。

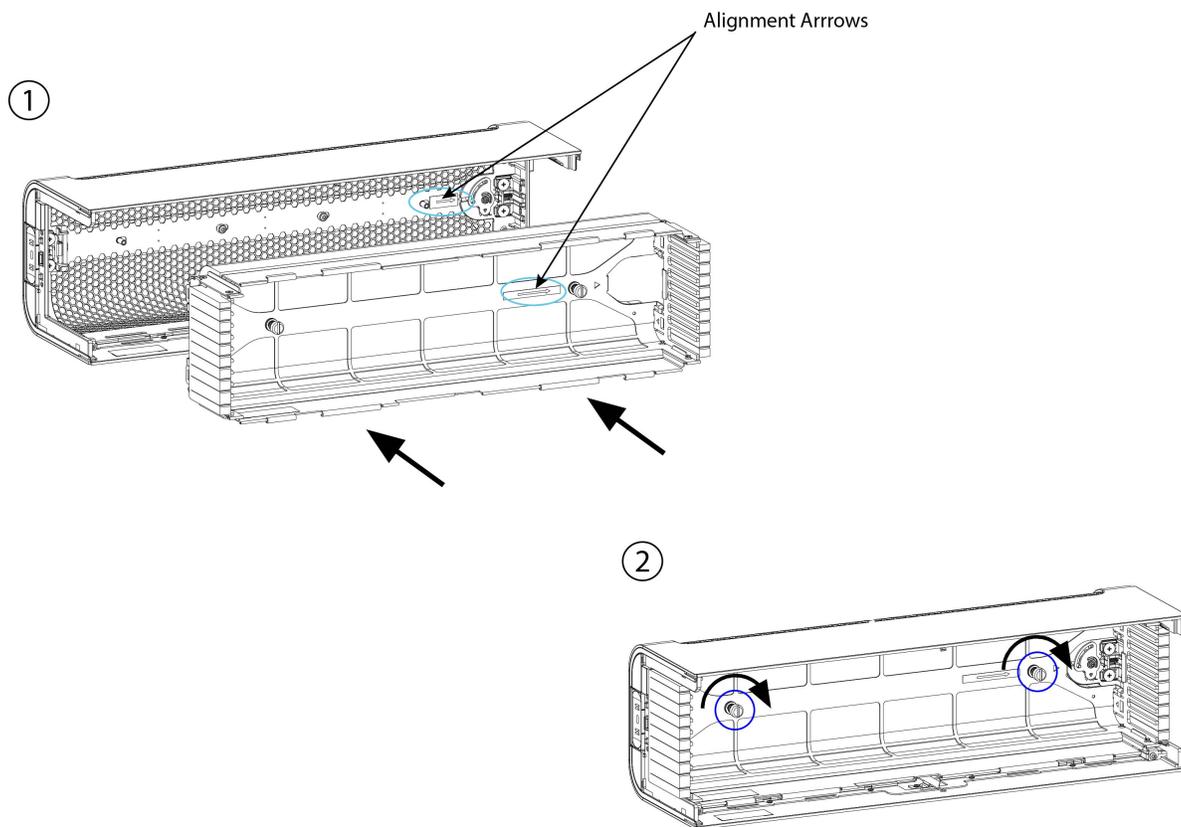
部品を正しく接続するには、各矢印が同じ方向を向いている必要があります。

- c) エアーフィルタをベゼルにはめ込み、ネジとネジ穴が揃っていることを確認します (1)。

- d) #2 プラスドライバーを使用して、非脱落型ネジを締めてカードを固定します。

注意

ネジをきつく締めすぎないようにしてください。



493115

注意

セキュリティ ベゼルとエア フィルタ アセンブリをシャーシに取り付ける前に、[エア フィルタ アセンブリの調整に関する考慮事項](#)を参照してください。

ステップ 2 シャーシにベゼルを取り付け、オプションでキーを使用してベゼルをシャーシにロックします。

「[セキュリティ ベゼルの取り付け \(58 ページ\)](#)」を参照してください。

セキュリティ ベゼルの取り付け

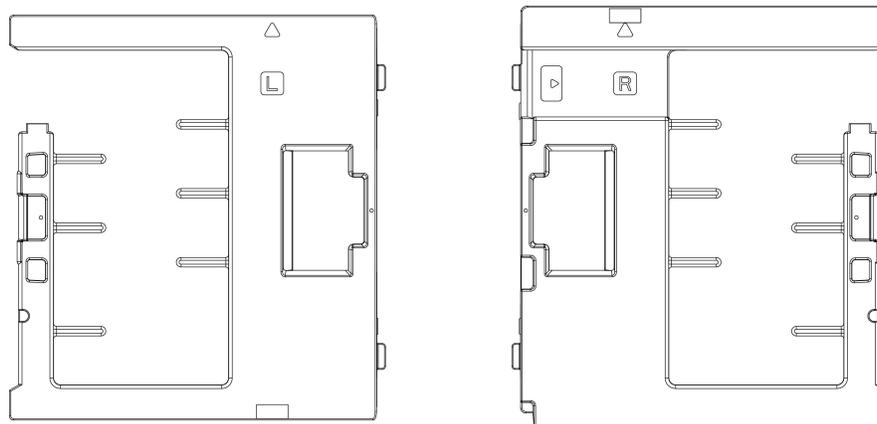
シャーシには、前面パネルに取り付けるロック セキュリティベゼルがあります。ベゼルは前面パネルに圧着で取り付けられます。関連するキーを使用してベゼルをロックして、Cisco UCS X9305 シャーシ、その PSU、およびケーブル接続を固定できます。

セキュリティ ベゼルの一部として、ケーブル管理アセンブリ (CMA) を取り付けることで、ケーブルを効率的に配線できます。左側と右側の両方の CMA をシャーシとセキュリティ ベゼルの取り付けブラケット (この手順では「イヤー」と呼ぶ) に取り付けて、シャーシとのケーブル接続もベゼル内に固定されるようにします。次に述べる手順では、以下の点を前提としています。

ベゼルの取り付けは工具不要の手順です。ベゼルを取り付けるには、次のタスクを使用します。

始める前に

セキュリティ ベゼルのラッチは、両側に 1 つずつ、2 つのケーブル管理アセンブリ (CMA) を取り付けられます。CMA は両側に固有であるため、左側の CMA の場合は **L**、右側の CMA の場合は **R** とマークされます。



4931546

この手順を開始する前に、各 CMA を識別していることを確認してください。この手順では、正しい CMA を正しい側に取り付ける必要があります。

各 CMA には水平ペグがあり、ケーブルを下部、中央、上部の階層に垂直に整理できます。

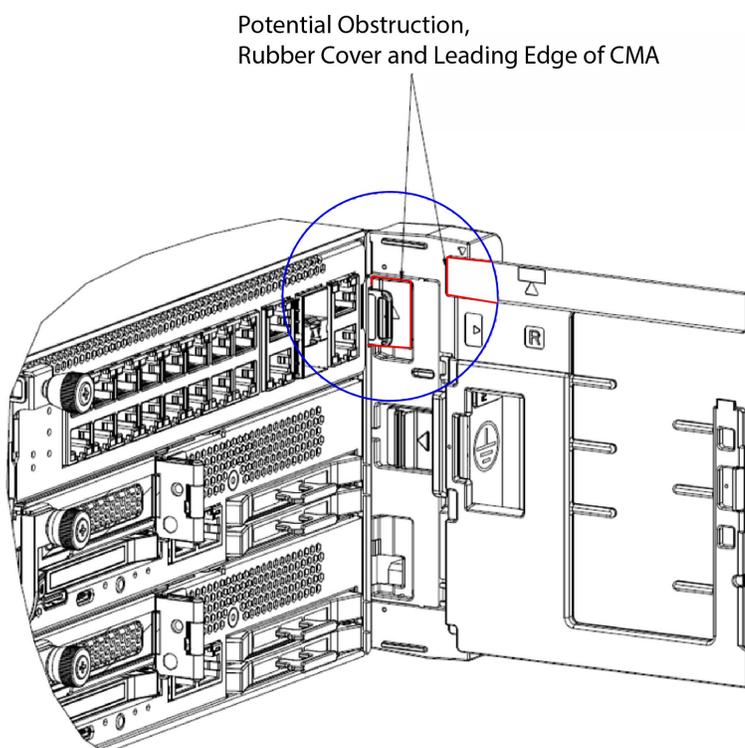
手順

ステップ 1 右のイヤーのゴム製カバーの位置を確認します。

(注)

取り外さないと、このカバーが CMA の先端に接触して、CMA の適切な取り付けできません。

ゴム製のカバーは、右端の内側にあります。



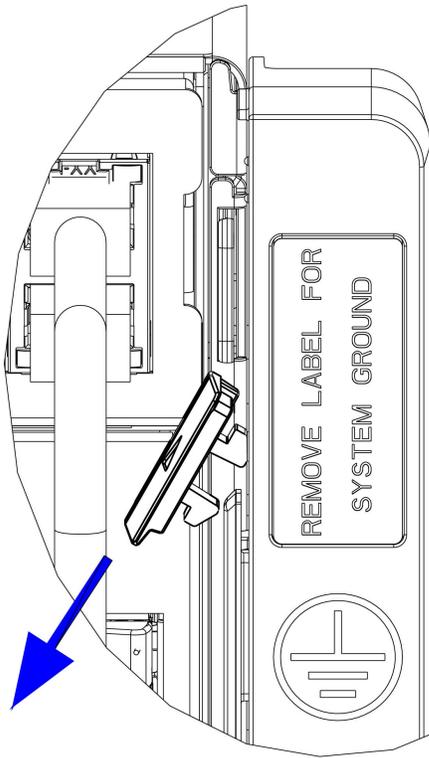
494032

ステップ 2 右側の固定部で、ゴム製カバーを取り外します。

このゴム製カバーは、右側の固定部にのみ付いています。

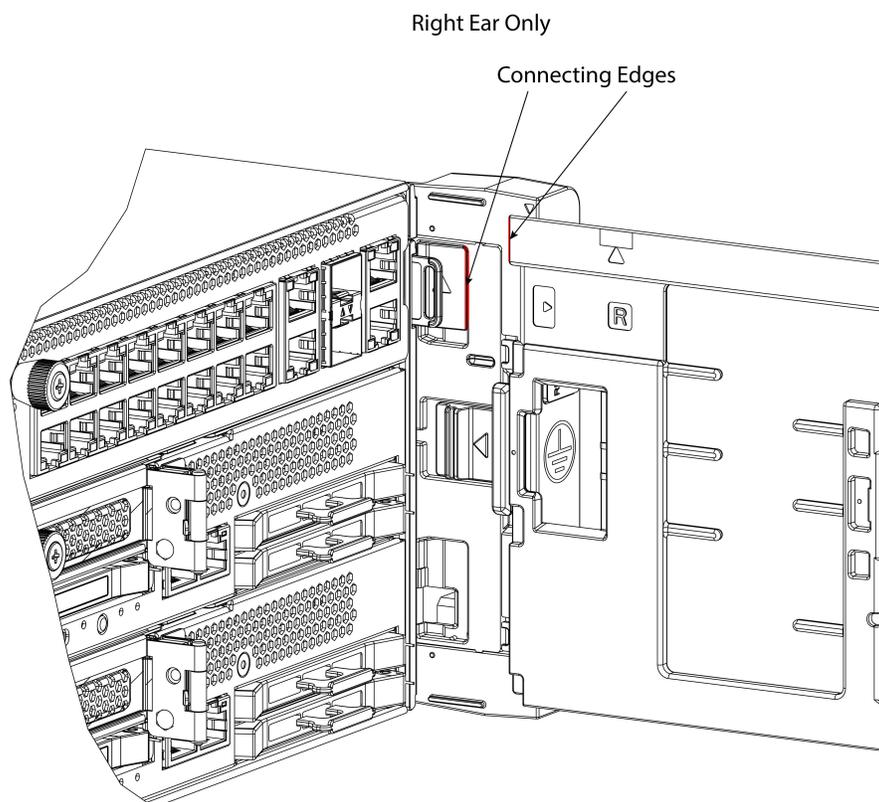
注意

CMA をシャーシに取り付ける際に邪魔にならないように、このゴム製カバーを取り外す必要があります。



493154

CMA をまだ取り付けていない場合でも、カバーを取り外したら、ゴム製カバーを取り外したときに右イヤールの接続部品を CMA の接続部品に合わせることができます。



493106

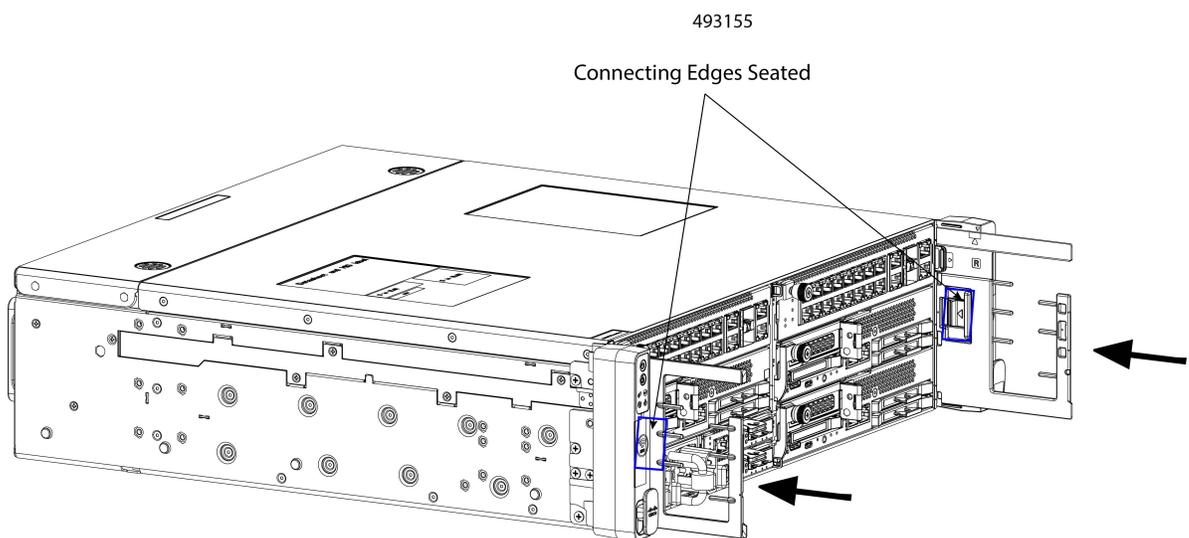
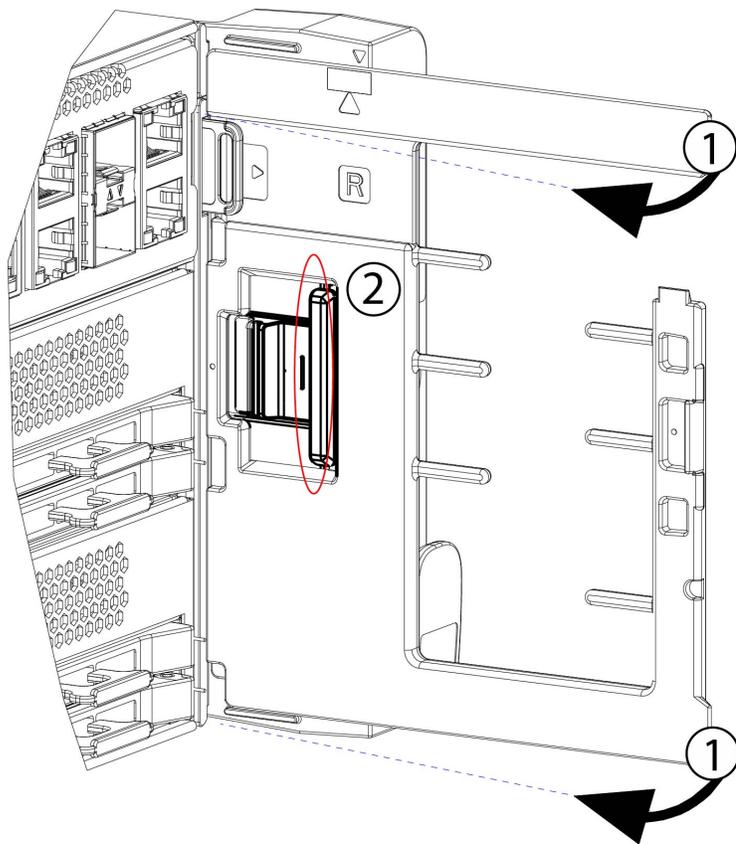
ステップ 3 シャーシの両側にネジ 14 本を取り付けます。

- 左側の CMA と右側の CMA があることを確認し、それぞれをシャーシの正しい側にセットして、シャーシの間違った側に CMA を取り付けないようにします。
- 各 CMA を少し内側に斜めに保ち、固定部の接続端を CMA の内壁にある内部ラッチである CMA の合わせ部分に固定してシャーシに接続します。

シャーシのインラインに CMA を直接取り付けしないでください。CMA を内側に向けてから外側に向けて動かすと、シャーシに接続しやすくなります。

重要

イヤーが CMA の内側のラッチに引っかかると、部品が正常に接続されたとき、カチッという音がします。



493108

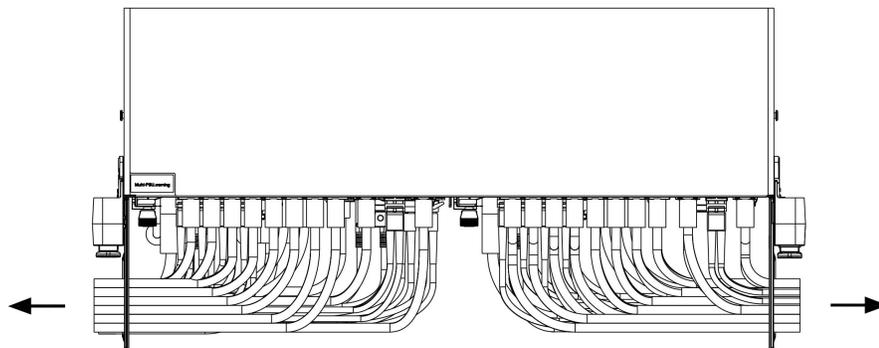
- c) CMA が正しく取り付けられている場合は、それぞれをまっすぐ手前にゆっくりと引いてシャーシから外れないことを確認します。

CMA がシャーシから外れる場合は、正しく装着されていません。両方の CMA がシャーシにしっかりと接続されるまで、この手順を繰り返します。

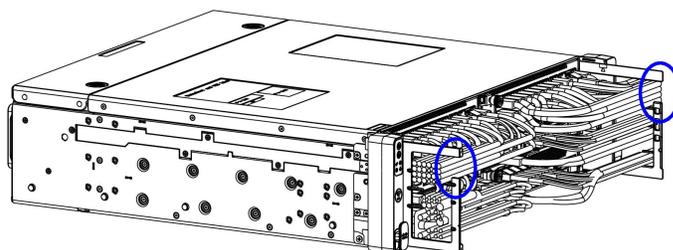
ステップ 4 ケーブルを接続して整理します。

- a) ケーブルを左右に分けて、左側のケーブルをシャーシの左側に、右側のケーブルをシャーシの右側に接続します。

Cable Routing (Top View)

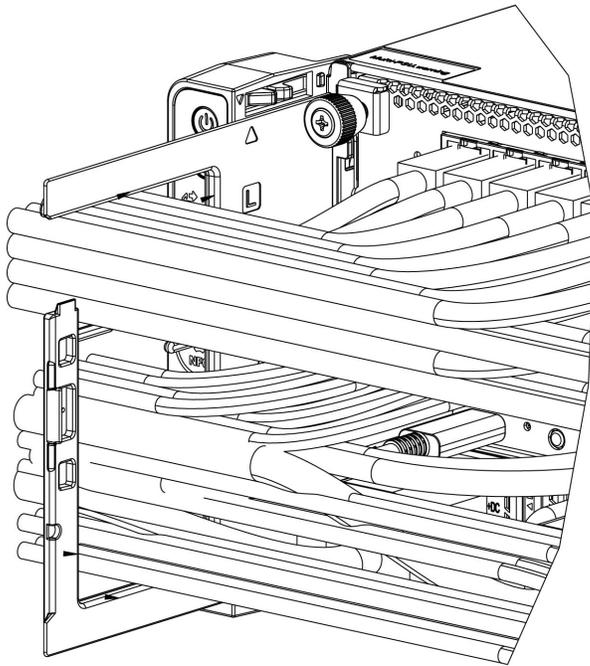


Cable Routing (Side View)



493109

- b) 左側のケーブルを下から上に順番に、左側の CMA のフックに通します。
正しく編成されている場合、ケーブルは CMA の各水平階層を通過します。
- ケーブルの一番下の列は、CMA の最下部の階層に通します。
 - ケーブルの中間グループは、CMA の中間階層を経由してルーティングされます。
 - ケーブルの一番上の列は、CMA の最上位の階層に通します。



493157

- c) 右側のケーブルを下から上に順番に、右側の CMA のフックに通します。
同じケーブルを集めて、左側の CMA と右側の CMA の同じ階層に配線します。
- d) 左側のケーブルがすべて左側の CMA を通過し、右側のケーブルがすべて右側の CMA を通過していることを確認します。

いずれかのケーブルがハングしている場合（適切な CMA を通して配線されていない場合）、セキュリティ ベゼルの取り付けが妨げられることがあります。

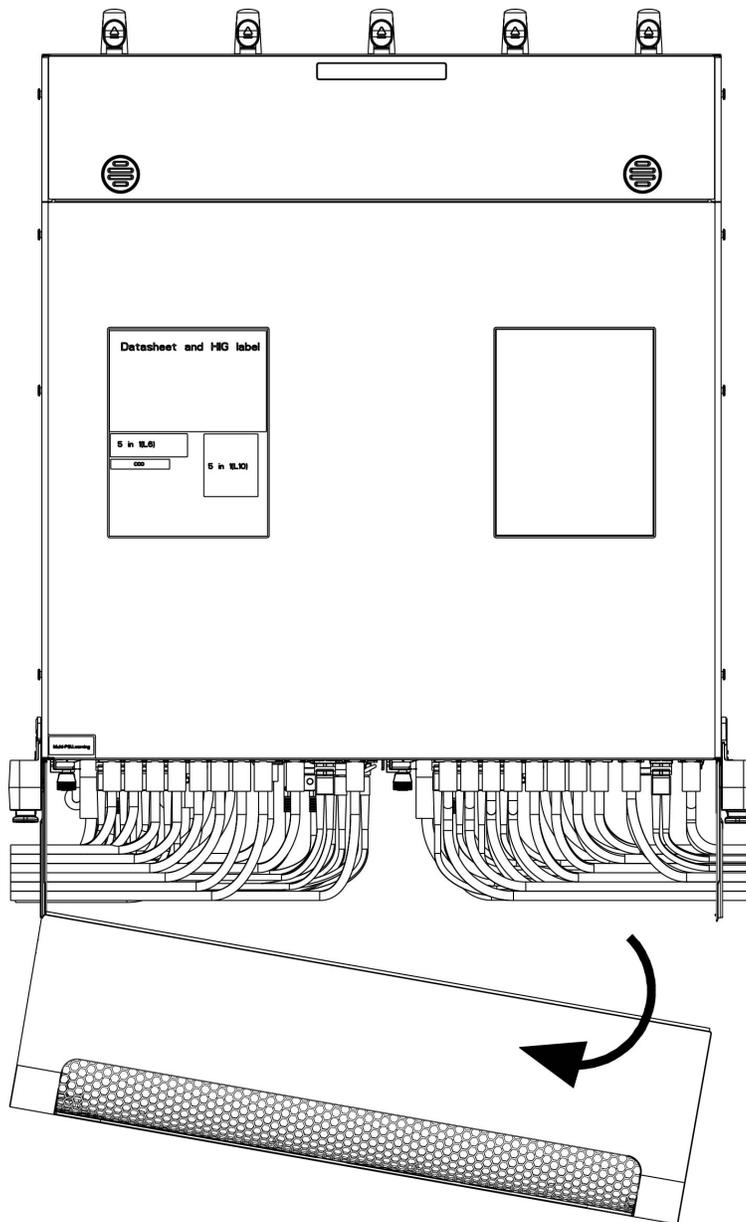
ステップ 5 セキュリティ ベゼルを取り付けます。

- a) ベゼルを取り付ける前に、ケーブル配線の全体的なサイズを確認してください。

注意

ベゼル内の垂直方向のスペースは制限されています。シャーシと左右のケーブルの接続位置の高さを検証します。ケーブルとその配線が、突起の上下の端を超えないようにしてください。使用可能なスペースよりも大きいケーブルにベゼルを取り付けようとすると、ケーブルが挟まれたり、圧着されたり、外れたりする可能性があります。

- b) CMA の上下レールとセキュリティ ベゼルのリードエッジを点検します。
CMA のレールには丸い溝があり、ベゼルには丸いレールがあることに注意してください。これらの部品が一致することにより、ベゼルが正しく配置され、CMA に装着されます。
- c) ベゼルの左側に角度を付けて、丸められたレールが CMA の左側にある溝に合うようにします。

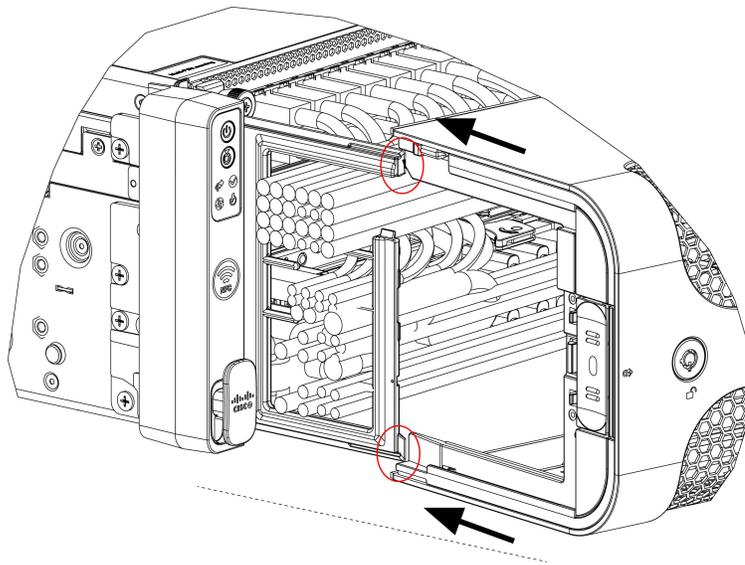


493158

- d) ベゼル レベルを持ち、CMA 上に 1 インチ以内でゆっくりスライドし、ベゼルのレールが両方の CMA の溝に収まっていることを確認します。

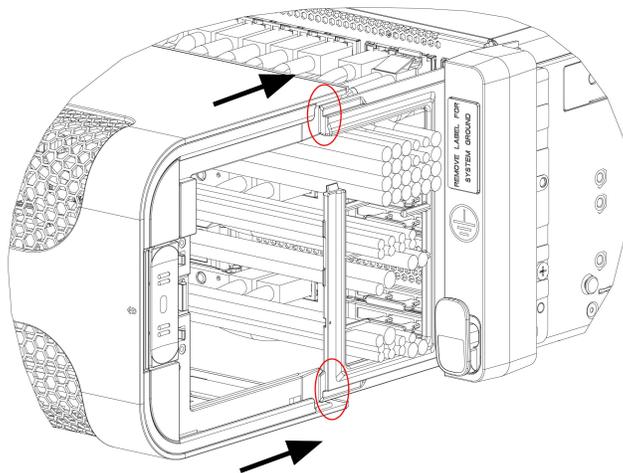
注意

続行する前に、上部と下部の両方が正しく装着されていることを確認してください。



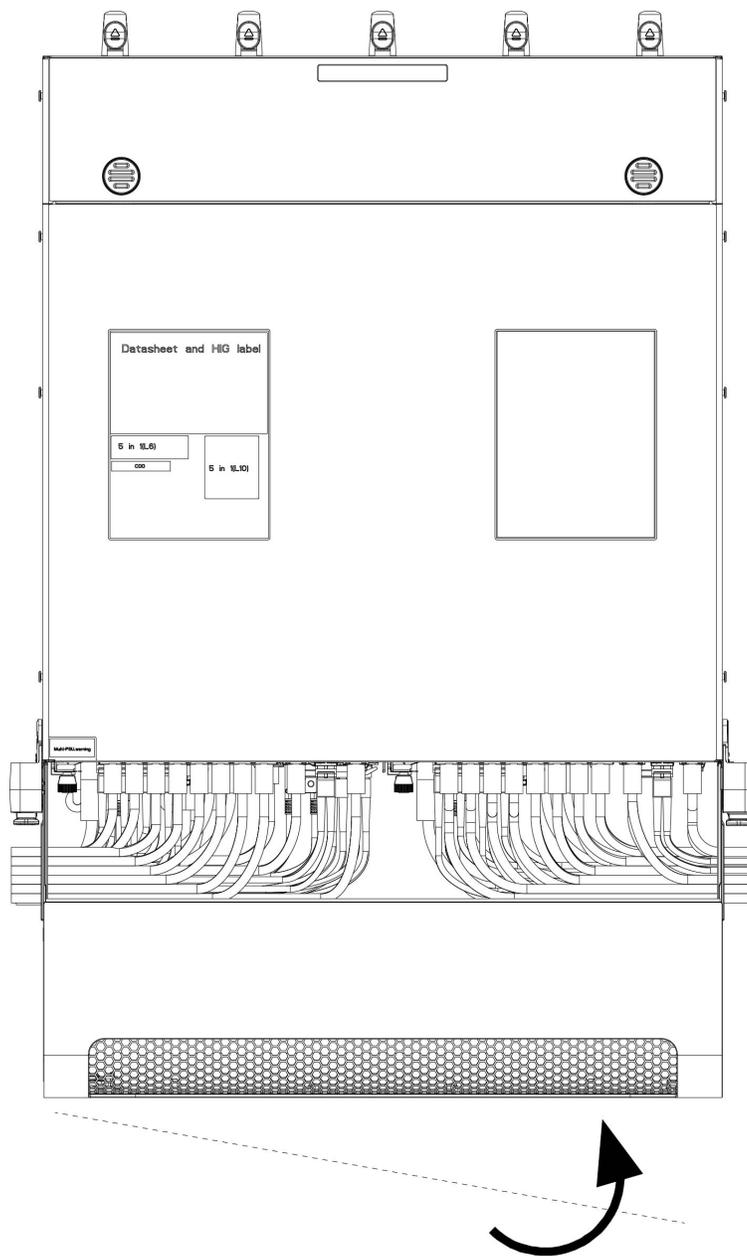
493159

- e) ベゼルの左側が部分的に取り付けられたら、ベゼルの右側を CMA に合わせます。ベゼルの右側と右側の CMA は、同じ位置合わせ機能を備えています。ベゼルには丸いレールが、CMA には丸みを帯びた溝が設けられています。



493161

- f) ベゼルと CMA の両側が正しく装着されたら、シャーシと面一になるまでベゼルの両側を完全にに取り付けます。

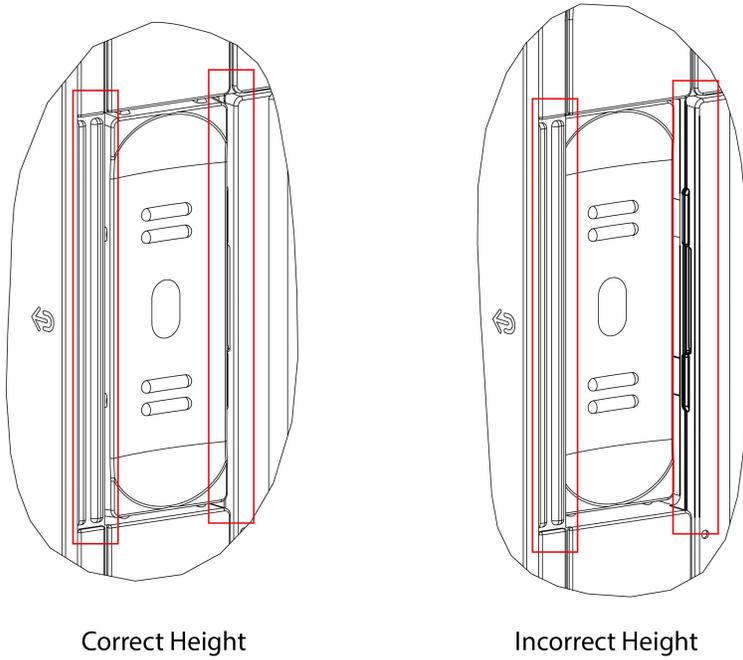


493162

ステップ 6 リリース ボタンを確認します。ベゼルが正しく取り付けられている場合はポップアップします。

正しく取り付けられると、ベゼルがシャーシの前面にぴったりとはまり、リリースボタンはそれぞれの側のフレームにぴったり重なっています。ベゼルのリリースボタンの一方または両方が埋め込み型（フレームと面一ではない）になっている場合、ベゼルが正しく取り付けられていません。ボタンを目視で確認した後、ボタンの端の部分の部分を指で追跡して、ボタンの一方または両方が平面または埋め込み型になっているかどうかを確認すると良い場合があります。

Release Button Height



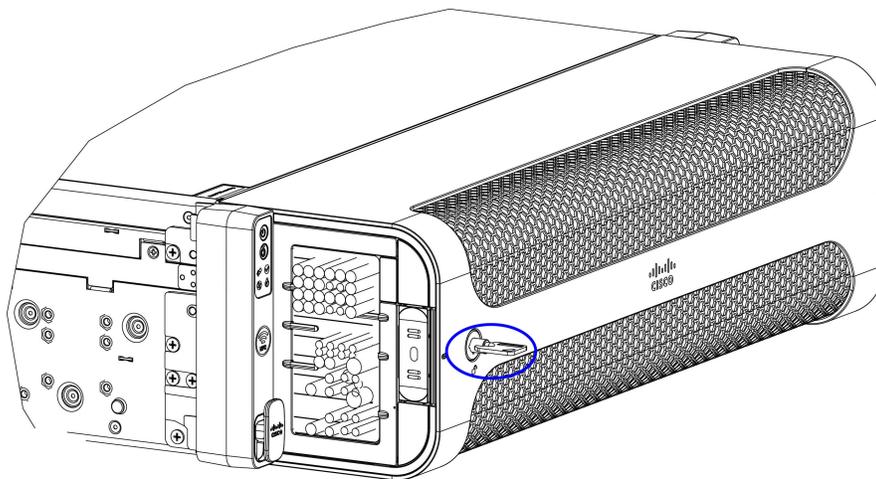
Correct Height

Incorrect Height

493163

ステップ7 (オプション) ベゼルのロックします。

- a) シャーシの前面で、キーをロックに挿入し、キーを時計回りに 90 度回してベゼルをロックします。
キーが水平になっているとき、ベゼルはロックされます。



493111

- b) キーを取り外し、安全な場所に保管します。
-

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。